



## PDA 大阪府立北野高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年7月12日（火）15:30-17:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒12名、教員5名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京外国語大学

はじめにPDAスタッフより、PDAの活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習を行いました。POIは、相手チームがスピーチしているときに質疑応答を要求することができるルールで、相手のポイントをより正確に理解したり、議論を深めたりするために重要なルールです。スタッフの「せーの！」の合図に合わせてばっちりPOIのポーズをきめることができました。



POIの練習

### 実践（1）の様子

ジャッジがいる試合形式のディベートは初めてだという生徒も、15分間の準備時間はチームメイトと一緒に論題について考え、スピーチの準備を行いました。

ディベートが始まると、たくさん具体例を出したり、POIで質疑応答にチャレンジしたり、お互いの議論を深めようとする様子が見られました。



スピーチの様子

## 実践（２）の様子

休憩を挟み、第２ラウンドの開始です。今回は第１ラウンドの結果を受けて対戦表が組まれました。ジャッジから受けたアドバイスを活かそうと、「特に焦点を当てるターゲットを明確にする」「相手の意見を踏まえた論を展開する」といったことにもチャレンジする場面も見られました。

ディベートが終わるとエアークラッシュを交わしました。



POIの様子



ディベート後のエアークラッシュ

最後のまとめでは、第２ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が本日の感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- 二回機会を頂けたので、改善する事ができて良かったです。二回目は相手の出てくるポイントを予測できたので、反対意見を述べやすかったです。
- 去年より成長を実感できた。
- 人前で話すこと、英語での会話が苦手でしたが、それと同時に頑張って会話することも楽しいと気付けた。
- POI ができてよかった。
- 自分の英語力の課題を知るきっかけになりました。ぜひ、このような練習会をまたやりたいです。
- やればやるほど上達していくのが自分でも感じられる気がします。試合が終わった後は、達成感と後悔があって、またしたい！と感じました。
- 英語ディベートは難しいからこそ、上手くできたときの嬉しさが大きく、それが楽しいと思う。本格的にジャッジをしてもらった試合は初めてで緊張もありましたが、まさかのベストスピーカーに選んでもらえ、自信に繋がりました。
- 頭を使うのが楽しい。



## PDA 東京都立千早高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年7月14日(木) 15:40-17:40

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒27名、教員1名

ジャッジ：PDA スタッフ、京都大学、大阪大学、北海道教育大学

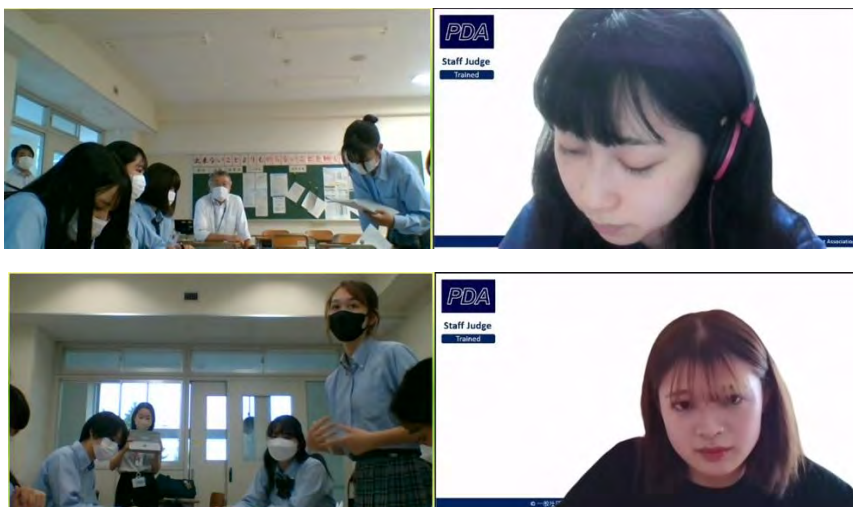
はじめに PDA スタッフより、PDA の活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information) の練習を行いました。3人チームと4人チームがあり、4人チームの場合の役割分担などルールの重要箇所について確認したのち、POI のポーズの練習を行いました。「POI!」と言いながら片手を頭に乘せて、もう片方の手を伸ばす POI のポーズをきめることができました。



POI の練習

### 実践(1)の様子

実践(1)の論題は、“**Homework should be abolished. (宿題を廃止すべきである。)**” でした。生徒の忙しさを描写したり、宿題を廃止した後の生徒の学習について分析したり、説得的なスピーチにするための工夫が見られる場面もありました。



スピーチの様子



スピーチの様子

## 実践（２）の様子

休憩を終えると、次のラウンドの開始です。実践（２）の論題は、“**High school students should have part-time jobs.** (高校生はアルバイトをすべきである。)”でした。実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かそうと、積極的に POI をしたり、まとめスピーチで将来への影響を具体的に説明したりする様子が見られました。



スピーチの様子



POI で質疑応答にチャレンジ！

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・とても楽しい体験機会を設けてくださりありがとうございました。とても楽しかったです。
- ・難しかったが新鮮で楽しかった
- ・ベストディベーターに選ばれた時は嬉しかったのもっと英語でのディベート力を伸ばしたいと思わせる体験会だった
- ・ディベートはすごく難しい印象があって抵抗があったけど、簡単な英語でも相手に伝わって討論が成り立ったのがすごく達成感があって楽しかったです！
- ・またこのようなイベントがあれば参加したい。
- ・最初はまだもっと簡単だと思っていたのですが、時間内にメンバーと意見を考えるのがとても大変でした。しかし、２回目はいい感じにやることが出来て良かったです。
- ・自分のクラスメイトとチームを組んで、ディベートをするのはとても楽しかったし、先輩と関わるきっかけにもなり良かった。



## PDA 愛知県立天白高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

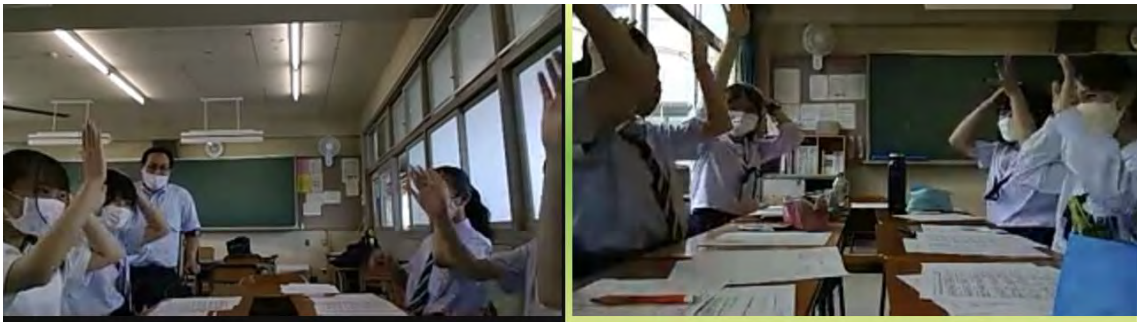
開催日時：2022年7月15日（金）13:00-15:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒12名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学

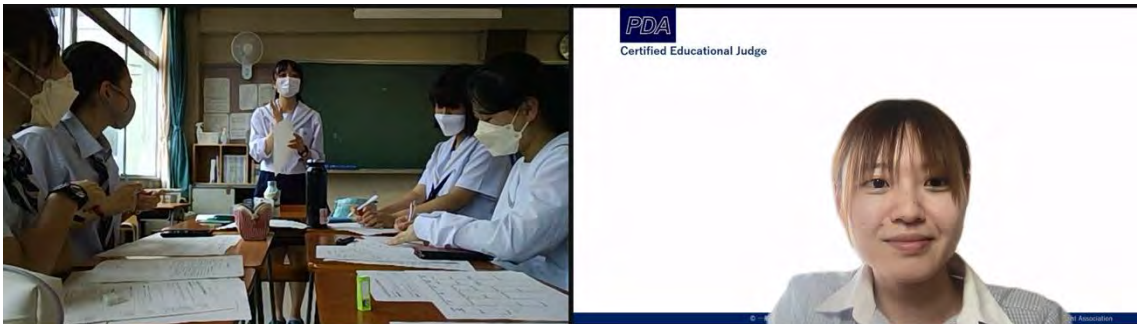
はじめにPDAスタッフより、PDAの活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習を行いました。POIはディベート中に相手に質疑応答を要求することができるルールです。POIをどんな時にするのか説明があり、その後全員でPOIのポーズの練習をしました。



POIの練習

### 実践（1）の様子

実践（1）の論題は、“**Homework should be abolished. (宿題を廃止すべきである。)**”でした。宿題をしなくて良くなった自由時間に何をするのか、学力は下がらないのかどうかなどについて、具体例を交えて説明しました。また、POIで質疑応答にチャレンジしたり、お互いの議論を深めようとしたりする様子が見られました。



スピーチの様子



POI !!



ディベート後のエアークラッシュ



スピーチの様子



スピーチの様子

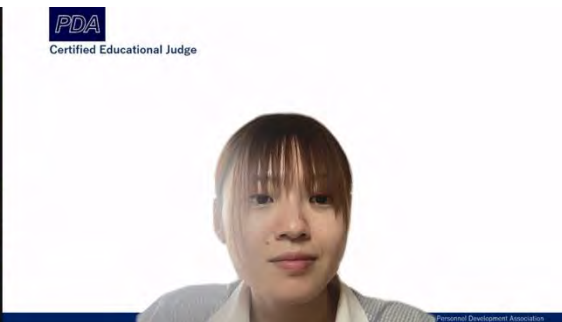


## 実践（２）の様子

休憩を終えると、次のラウンドの開始です。実践（２）の論題は、“**High school students should have part-time jobs.**(高校生はアルバイトをすべきである。)”でした。説明していることの重要性を説明してみる、一般化した理由づけを説明する、“**Even if**”を使って反論するなど、ジャッジから受けたアドバイスを活かそうとする様子が見られました。



スピーチの様子





POI にチャレンジ



エアー握手



エアー握手

最後のまとめでは、第2ラウンドでベストディベータに選ばれた生徒が「難しかったけれど、中でもできることがあって、最後まで頑張ることができた。とても楽しかった。」と、本日の感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています



### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- 自分の言った意見は何が足りなかったのかや、どうすればもっと良くなるかを的確に教えていただいてとても役に立ったと思う。
- ディベートの人数が6人っていうのがすごいリラックスできて良かった。
- みんなの意見を聞きながらかつそれに対応して話すことが大変だった。
- 頭はパンクしましたがとても楽しく、ためになりました。
- 改善点も教えて頂けて、よい経験になりました。楽しかったです。
- 英語力が非常に使われているのが実感できてやりがいがあった。相手の話を聞いて考えたり、反論を予想したりするのが楽しかったです！



## PDA 滋賀県立彦根東高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年7月15日（金）16:00-18:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒11名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学

はじめに滋賀県立彦根東高校の伊吹校長より、英語でご挨拶いただきました。「今日は生徒の皆さんにとって素晴らしい機会です。論理的に考え、他の人とコミュニケーションをとることについてインスパイアを受けることを願っています。」とご挨拶いただきました。

次に、PDAスタッフより、PDAの活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習を行いました。



POIの練習

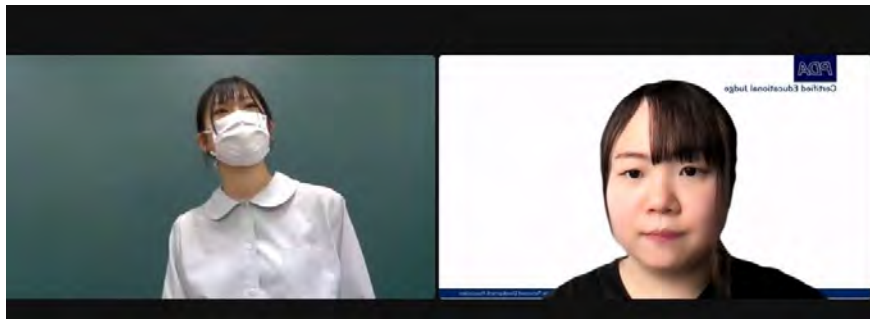
### 実践（1）の様子

即興型の英語ディベートをするのは今日が初めてだという生徒もいる中、先輩と連携したり、チームワークを発揮したりしながら準備を進めました。

ディベートが始まると、堂々と聴衆を見渡しながら議論する様子が見られました。



アイコンタクトをして堂々とスピーチ



スピーチの様子



ディベート後のエアークラッシュ

### 実践（２）の様子

休憩を挟み、第2ラウンドの開始です。ディベートのルールにも自信がつき、第1ラウンドよりも長い時間スピーチすることができました。内容についても、定義を活用したり、相手の意をよく汲んで反論や再構築をしたりすることができました。



スピーチの様子



スピーチの様子



ディベート後のエアークラッシュ

ディベートが終わり、ジャッジによるフィードバックを終えると、POIの練習をさらに行いました。POIでの質疑応答では、聞き取れなかった部分について確認したり、より具体的な説明を求めたり、反論の布石になる質問をしたり、議論を深める機会となります。

POIの練習では、次のディベート実践をする際にはさらにPOIにチャレンジをしようと意気込む様子が見られました。



最後のまとめでは、第2ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が本日の感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・初体験だからなかなかうまく喋れなかったが、アドリブで喋るのには丁度良い経験になった。
- ・初めて本格的な即興型ディベートをして、緊張しましたが先生方がたくさんのアドバイスをくださり、2度目は少しですが上手に立論できてとても達成感がありました。とても楽しくて、今後のモチベーションになります。本日は本当にありがとうございました。
- ・戸惑うことや失敗したことも多々ありましたが、その反面学べたこともたくさんあったので良かったなと思います。
- ・緊張して初めはほとんど話せませんでした。2回目はアドバイスを受けて、少し話す内容が増えた気がします。コツが掴めるともっと楽しそうだと思います。
- ・貴重な経験ができて自分のためになりました。



PDA 仙台青陵中等教育学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年7月20日（水）13：00～15：00

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒12名、教員3名、

スタッフ：大阪公立大学、PDA認定教育ジャッジ

即興型英語ディベートに初めて挑戦する中学1年生から高校1年生の皆さんと、ディベートの各スピーカーの役割確認をまず行いました。即興型英語ディベート特有の大事なルールである、POI（Point of Information）の練習を参加者全員で行い、早速実践①の論題発表です。



全員でPOIの練習！

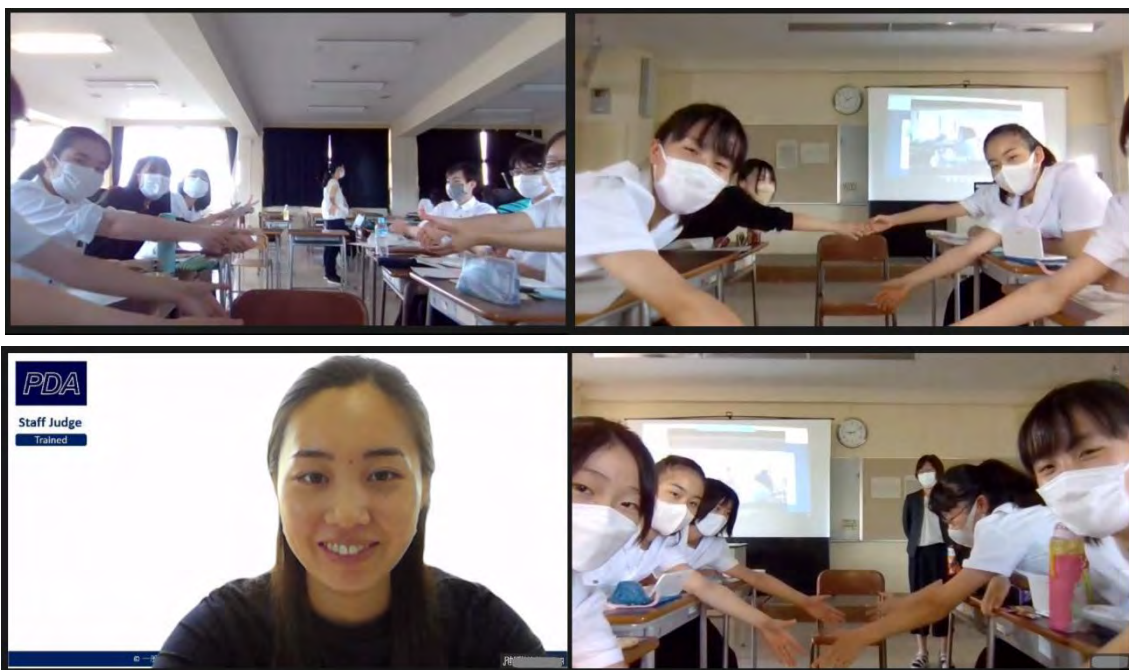
### 実践①の様子

論題発表後の準備時間（15分間）を使って、生徒たちは論題を肯定/否定する理由をそれぞれに考え、その後チーム内で話し合い自分たちのポイントを2つ決めます。実際のラウンドでは、中学1年生も堂々と英語で反論や立論をスピーチし、両サイドともに自分たちの議論の方が相手の議論よりも勝っていることを、一生懸命に訴えました。また、しっかりと反論を行うために、相手のポイントを再確認するPOIも見られました。

ラウンド後は、PDAのジャッジから、(1)勝敗(2)勝敗の理由(3)1人1人への個人コメント（良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点）が述べられます。ジャッジからのアドバイスを真剣に聞き、熱心にメモをとる生徒や、その場でジャッジコメントを反映したスピーチに書き直し、ジャッジに添削を求める積極的な学びの姿勢が印象に残りました。

## 実践②の様子

実践①でジャッジから受けたフィードバックを、早速実践②のスピーチにいかし、チームワークも良いラウンドとなりました。仙台青陵の皆さんの吸収力、応用力の高さを感じます。論題のある世界では、新たにどのようなデメリットが誰に生じるのかを、ステップごとに丁寧に英語で述べる生徒や、論題のある世界のメリットが、いかに重要なのかを長期的視点で述べようとする姿勢がみられました。更には、両方の世界を比較して、自分たちの議論の方が相手の議論よりも勝っていると、比較しながら反論や立論をしようとする姿も目立ちました。



ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて、対戦相手とエア握手

実践②でベストディベーターに選ばれた生徒から「初めて即興型英語ディベートをやってみて、自分の意見だけでなく、その意見を支える根拠となる理由もはっきりと言葉で伝える必要があることが分かった。今後は相手の意見もちゃんと聞いて、反論でも理由を述べて組み立てたい。」、「相手のスピーチ内容を正確に聞き取ることの難しさを、実感した。聞く力、話す力、コミュニケーション力をあげていきたい。」と、感想が述べられました。お互いに切磋琢磨しながら、発信力やコミュニケーション力に加えて、論理力や表現力、チームワークや幅広い知識など、様々な力を高めていける PDA のイベントやコンテンツを、仙台青陵中等教育学校の皆さんに是非繰り返し活用してもらいたいと願っています。

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- 回を重ね、アドバイスをもらう度にどんどん上手くなっていくのを実感できて、とても楽しかった。全国大会にも参加してみたい。
- 短い時間でしたが、すぐに（スピーチ順が）回ってくるハラハラと、即興で考えなければいけないので、とても疲れました笑。だけど、楽しかったので時間を見つけてまた行きたいです！授業でも是非やりたいです。
- 今回の経験を通して、飛躍的に英語力がついた気がしました。また、仙台青陵に来てほしいです！
- 英語でディベートなんてできるわけがない！と思い参加しましたが、仲間が助けてくれて話し続けることができたので、よかったです。仲間の人の新しい能力にも気づけて、とても楽しかった。授業でも是非やりたいし、全国大会にも是非参加したい！
- 今まで培ってきた英語力をしっかりとほっきすることが出来ました。相手の意見をしっかりと理解して、自分の主張したいことを言うことがとても大変でしたが、とても楽しかった。
- （PDA のジャッジ講師に）良い点と改善点を具体的に教えていただいて、とても勉強になりました。これからも英語力の向上に努めていきたいです。
- ディベートをすることで英語力がつき、かつ楽しく学ぶことができたので、本当に有意義な時間でした。また、このようなディベートを体験できたらなと思います。
- 色んな意見があって、自分とは違う考えもより良く知り、深めることができたから、とても楽しかった。頭を使うことが多く、相手の話を集中して聞かなければならないのが一番難しかったが、しっかりできてよかった。全国大会にも是非参加したい！





## PDA 滋賀県立膳所高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年7月22日（金）13:00-15:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒9名、教員1名

ジャッジ：PDA スタッフ

はじめに PDA スタッフより、PDA の活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information: ディベート中に質疑応答を要求することができる)の練習を行いました。昨年の体験会や関西交流大会に参加した生徒もあり、早くディベート実践をしたいという気合いの見える POI の練習となりました。



POI の練習

### 実践（1）の様子

野球部に所属する友人のエピソードを具体例として説明したり、POI を通して質疑応答をしたり、お互いに説得的なスピーチをしようという工夫が見られました。

ディベートが終わると、お互いの健闘をたたえてエアークラップを行い、ジャッジからのフィードバックを受けました。



POI で質疑応答



エアークラップ

## 実践（２）の様子

休憩を挟み、第２ラウンドの開始です。第１ラウンドで受けた「特に焦点を当てるターゲットを決める」などのアドバイスを早速活かそうと、準備時間ではどんな人に焦点を当てるか、その人が現状で抱えている問題とは何かなどについてチーム内で相談しました。そして、定義や立論の中でそれらを反映する場面も見られました。さらにスピーチ内容を確認するための POI にとどまらず、内容に突っ込んだ質問をする様子も見られました。



スピーチの様子



エアークラップ

最後のまとめでは、第２ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が本日の感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・凄く緊張したが、終わったあとの達成感がすごく楽しかった。緊張したけれどたくさんの気づきがあって凄く勉強になった。
- ・とても有意義な時間でした。もっと英語ディベートが上手になりたいです。ありがとうございました！
- ・英語のディベートをする上で非常に貴重な経験になった。
- ・日本語を英語で話すだけですごく難しくなり、文法や単語を疎かにしてはいけないと思った。
- ・身近な話題でディベートできたので楽しかったです。コメントをいただけると、新鮮で新しく知れることもたくさんありました。
- ・いかにして相手の弱点を突きつつ自分を守るかということを短時間で考えることが楽しかった。また、普段はあまり使わない英語でやるのが新鮮で良かった。
- ・わいわいやっていて楽しかった。
- ・1回目と2回目でだいぶグレードアップできた感じがし、とても楽しかったです。

## PDA 青森県高等学校即興型英語ディベート交流大会 2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年7月23日(土) 12:00-16:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：5校、10チーム (青森県立青森高校、青森明の星高校、八戸聖ウルスラ学院高校、  
青森県立青森南高校、青森県立八戸高校)

参加者：生徒31名、教員9名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ・青森高校、PDA認定教育ジャッジ・青森南  
高校、三本木高校、木造高校

開会式では、青森県教育研究会外国語部会長・青森南高等学校長の久保田千夏先生より、「志を同じくする仲間とディベートを通じた交流を楽しんでください。」とご挨拶いただきました。

次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) スタッフより、参加校の紹介、ルールの復習、評価基準の説明などが行われました。ルールの復習では、相手チームのスピーチ中に質疑応答を要求することができるPOI (Point of Information) について練習を行いました。スタッフの「せーの！」の合図に合わせて、ディベート本番のようにミュートを解除し、「POI！」と言いながら、片手を頭に乗せ、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズをすることができました。



久保田校長先生によるご挨拶

全員で「POI！！」

POIの練習が終わると、早速第1ラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は「**Cosmetic surgery should be banned. (美容整形を禁止すべきである。)**」でした。準備時間が終わると、ジャッジを務める青森県内の高校の教員の進行のもと、ディベートが始まりました。



八戸聖ウルスラ学院B VS 青森南A

青森A VS 八戸聖ウルスラ学院A

青森B VS 青森南B

肯定側は、美容整形が失敗するリスクや、何度繰り返し美容整形をしても満足できないという問題について、否定側はコンプレックスを克服する手段としての重要性や、選択の自由について説明しました。ディベート中、POIを通した質疑応答が活発に行われ、相手チームの主張の根拠についてや具体的事例についてたずねる様子も見られました。



青森 C VS 八戸 A



八戸 B VS 青森明の星

ディベートが終わると、画面越しにエアークラッシュを交わし、お互いのスピーチについてや英語のスピーキングについて話すなど交流を深めました。



エアークラッシュを交わします（八戸聖ウルスラ学院 B・青森南 A）



ジャッジのコメントを待つ時間に交流を深めています（青森 A・八戸聖ウルスラ学院 A）

ディベートが終わると、ジャッジから、勝敗、勝敗の理由、個人コメント、ベストディベーター、POIの発表などフィードバックが行われました。

特に個人コメントでは、一人一人に良かった点と改善点が提示され、生徒は次のディベートに活かそうとメモをとる様子が見られました。

続く第2ラウンドのお題は、「*It is better to study abroad during high school days than after entering university in Japan.* (留学するなら、大学入学後よりも、高校在学中にしたほうがよい。)」でした。高校のうちから明確な目的を持って留学をすることができるのかどうかや、留学中のリスク回避のために大学生になってからがいいのではないかといった点について議論しました。第1ラウンドも白熱した議論でしたが、さらに甲乙のつけ難い、熱い議論となりました。



青森南 B VS 八戸 A

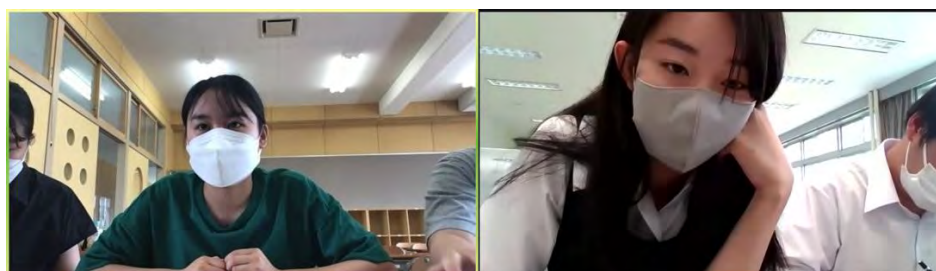


青森 C VS 八戸聖ウルスラ学院 B



POI ! (八戸聖ウルスラ学院 A)

POI ! (八戸 B)



青森 B VS 青森南 A



ディベート後の交流の様子 (青森 A・八戸 B)



ディベート後の交流の様子（八戸聖ウルスラ学院 A・青森明の星）



ジャッジによるコメント（青森南 B・八戸 A） ジャッジによるコメント（青森 B・青森南 A）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「***Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.*** (園や小学校の運動会での順位付を廃止すべきである。)」でした。両チームとも、スポーツや運動会の目的についてや、運動が苦手な子どもにとってコンプレックスとなるのか、むしろ成長を促すのかについて深く分析し、堂々としたスピーチを披露しました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、Government（肯定側）の勝利となりました。最後にエキシビジョンディベーターが本日の感想を述べ、交流大会が終了しました。









エキシビジョンディベートの様子



ディベート後のエアー握手

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM 青森明の星高校 さん
- ・LO 八戸高校 さん
- ・MG 八戸聖ウルスラ学院高校 さん
- ・MO 青森高校 さん
- ・LOR 青森南高校 さん
- ・PMR 青森高校 さん



エキシビジョンディベータ賞

### 〈チーム賞〉

- 1位 青森高校 A
- 2位 青森高校 B
- 3位 八戸聖ウルスラ学院高校 A
- 4位 八戸高校 A
- 5位 八戸聖ウルスラ学院高校 B



1位 青森高校 A



2位 青森高校 B



3位 八戸聖ウルスラ学院高校 A



4位 八戸高校 A



5位 八戸聖ウルスラ学院高校 B



〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ █████さん (八戸聖ウルスラ学院 B) ★
- ・ █████さん (八戸聖ウルスラ学院 A) ★
- ・ █████さん (青森明の星)
- ・ █████さん (八戸 B)
- ・ █████さん (八戸 A)
- ・ █████さん (青森 B)
- ・ █████さん (青森 B)
- ・ █████さん (青森 A)
- ・ █████さん (青森 A)
- ・ █████さん (青森南 B)
- ・ █████さん (青森南 A)



ベストディベーター賞

〈POI賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ █████さん (八戸聖ウルスラ学院 A) ★
- ・ █████さん (八戸聖ウルスラ学院 B)
- ・ █████さん (八戸聖ウルスラ学院 B)
- ・ █████さん (八戸聖ウルスラ学院 A)
- ・ █████さん (青森明の星)
- ・ █████さん (八戸 B)
- ・ █████さん (八戸 A)
- ・ █████さん (青森 C)
- ・ █████さん (青森 C)
- ・ █████さん (青森 B)
- ・ █████さん (青森 A)
- ・ █████さん (青森南 B)
- ・ █████さん (青森南 A)



ベストPOI賞

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・初参加でしたがとても楽しかったです。（青森高校）
- ・相手高校と実践して、自分達が普段考えつかないアイデアを知れて面白かったです。（青森南高校）
- ・聞き取れない所があったのは悔しかったけど、やっぱり挑戦できる場所っていいなって思いました♡（青森南高校）
- ・その場で考えたことを英語で言うのが楽しかった。（八戸高校）
- ・英語が伝わっていると実感できて嬉しかった。（八戸高校）
- ・初めて他の高校とディベートして緊張したけど面白かったです。（青森南高校）
- ・具体例などを入れて説明するのは難しかったけど自分の言葉で上手くまとめて話すことができたし、勇気を持って質問できてよかったです。（八戸高校）
- ・難しかったんですが、アドバイスを貰えたり、他の高校と初めてディベートをしてみて勉強になりました。英語力と論理的に考える力を向上して、もっとディベートを上手くできるようにしたいです。（青森南高校）
- ・とても楽しかったです。今まで自分の意見を積極的に発表する機会があまり無かったけれど、今回自分の思ったことを発表する経験が出来て、有意義な時間にすることが出来ました。もっと英語力を上げたいです。（八戸高校）
- ・自分とは違う意見があり面白かった。（八戸聖ウルスラ学院高校）
- ・初めて参加したけど短い時間の中で準備したり、考えたりするのがとても楽しかったです。（青森高校）
- ・非常に充実した時間でした。英語を論理的に話すだけでなく、POIなどの発言も積極的に行うのが真のディベートだと思いました。（八戸聖ウルスラ学院高校）
- ・まだ始めたばかりではあったものの、仲間と考えながらいいディベートをすることが出来たと思います。また、他校の生徒さんとお話するのが楽しく、もっと英語やディベートが上手になってまた出場したいと思いました。（青森高校）

（教員の声）

- ・他校ではディベートの取り組みがとてもされていて、感動しました。本校でも出来るように指導したいと思いました。
- ・久しぶりのディベートジャッジでしたが、やはり深いアクティビティだと思います！自分自身もクリティカルシンキングできるように頑張ります！
- ・生徒たちが、良い経験ができた。
- ・さまざまな意見、アイデアを聞くことができ、なるほどと思うこともあって勉強になった。
- ・全て初めてのため、刺激的でした。アトホームな大会運営でした。
- ・とても為になった。県のレベルが向上しているのが知れた。
- ・大変勉強になり、授業にも活用できそうです。



## PDA 鹿児島育英館高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年7月28日(木) 08:45-10:45

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒27名、教員2名

ジャッジ：PDA スタッフ、慶應義塾大学、東京外国語大学

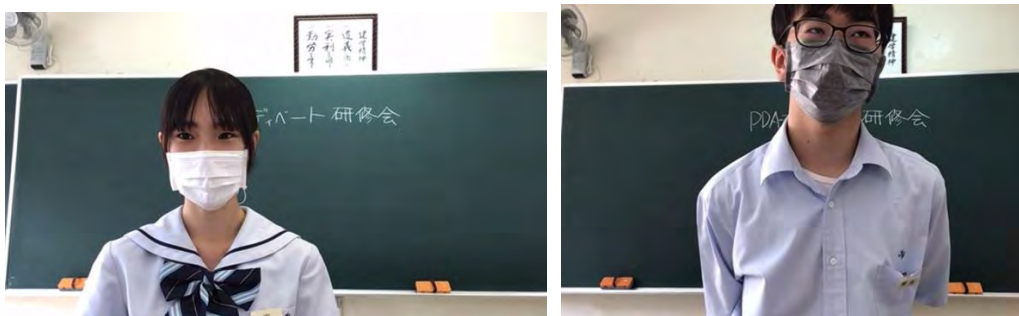
はじめに PDA スタッフより、PDA の活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information) の練習を行いました。スタッフが「緊張していますか？」とたずねると、緊張している人の手がたくさん挙がりましたが、POI の練習を通して緊張を吹き飛ばし、実践に移りました。



POI の練習

### 実践(1)の様子

実践(1)の論題は、“**Homework should be abolished. (宿題を廃止すべきである。)**” でした。宿題があることで先生の負担が増えており、生徒も苦手科目の勉強に時間が割けないということを説明する肯定側に対し、否定側は宿題が廃止されると放課後の時間を無駄に過ごしてしまい、勉強習慣がつかないのではないかといい点や、期日までに課題をこなす力や自己管理能力を身につけるためにも宿題が必要だという点について説明しました。途中、POIを通じた質疑応答も行われ、お互いの意見の確認をしたり、理解を深めたりしました。



スピーチの様子



POIで質問をする様子



ジャッジによるフィードバック

## 実践（２）の様子

休憩を終えると、次のラウンドの開始です。実践（２）の論題は、“**High school students should have part-time jobs.** (高校生はアルバイトをすべきである。)”でした。実践（１）でジャッジから受けた「重要性を説明する」「反論でも理由を説明する」などを早速活かそうと試みる様子が見られました。ディベートが終わるとお互いの健闘をたたえてエアークラッシュが交わされました。



エアークラッシュ

最後のまとめでは、第２ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が「英語にするのが難しかった。」「楽しかった。」「もっと英語の勉強を頑張りたいと思った。」と、本日の感想を述べ、体験会が終了しました。

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- すごく分かりやすくて勉強になった。
- 緊張したけどしゃべれた時に嬉しかった。
- もっと話す英語を練習したいと思った。
- 即興で英文を考えて伝えることがとても楽しかったです。
- グループの人と意見を考えたり、まとめたりするのが楽しかったです。
- 緊張したし、咄嗟に考えて英語にするのは難しいけどお互いの意見を英語で言い合うのは楽しかったです。
- 英文を考えるのも読むのも苦手で、不安でしたが、とても楽しかったです。良い経験になりました！
- もっとスラスラ喋れるようになりたいなと思いました。とても楽しかったです。
- 初めは試合をしっかりと出来るか不安だったけど、1回目のディベートの後のアドバイスを活かして、2回目のディベートではよく話すことができたのでとても楽しかったです。また機会があればしたいです！
- 意味を理解できながらできたので楽しかったです。



## 2022 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022 年 8 月 2 日 (火)・3 日 (水) 10:00-16:00

会場：神奈川県立横浜平沼高等学校

参加者：教員 30 名 (横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜国際高校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、神奈川教員 (PDA 認定教育ジャッジ)

はじめに、会場校である神奈川県立横浜平沼高校の小島校長先生より、「チームのメンバーと絆を深めて、この 2 日間で得たことを授業に落とし込めるようぜひ頑張ってください。」とご挨拶いただきました。次に、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 推進委員長の大賀より、本会の目的や即興型英語ディベートの教育的効果について説明がありました。



横浜平沼高校 小島校長先生



PDA ディベート推進委員長 大賀

昨年度は月に一度の開催を繰り返し、校務などの関係で参加がかなわなかった先生方もいましたが、今年度はその研修を 2 日間に凝縮して行います。約 30 名の教員がそれぞれ 3 名のチームに分かれ、2 日間同じチームとして、ディベート・ジャッジをそれぞれ実践します。

2 日間の研修は 9 つのコマに分かれており、それぞれ「ルールの本質」「スピーチシートの使い方」「立論」「反論」「まとめ」「POI」「勝敗の出し方」「個人コメント」「PDA 認定教育ジャッジ審査項目」とテーマが設けられています。それぞれのテーマについて各コマの冒頭に PDA スタッフより解説が行われ、インプットの後に実際にディベート・ジャッジ実践を通してアウトプットを行う流れになっています。

ディベート実践を行うチームは、準備時間が始まるとすぐにチームごとに作戦を立て、ポイントを考えていきました。

ジャッジ実践を行うチームは、司会進行とタイムマネジメントを分担して行い、ディベートが終わると勝敗と勝敗の理由を簡潔に説明する練習を行いました。

休憩時には他校の教員と情報交換を行う場面も見られました。



会場の様子



スピーチの様子



ディベート後のエアークラップ



ディベートチーム・ジャッジチームに分かれて実践を行います

ジャッジチームのジャッジ実践のあとは、メインジャッジより、勝敗、その理由、個人コメント（各スピーカへ良かった点1つ・改善点1つ）、ベストディベーター・POIの発表が行われました。



ディベートの様子（オンライン参加のメインジャッジに向かってスピーチ）

2日目になると、緊張もほぐれ、チームとしての団結力も強まっていきました。ジャッジに勝敗の理由について質問をしたり、生徒に指導する際のコツなどについてたずねたりする場面も見られました。



**ジャッジに質問**



**PDA 認定教育ジャッジよりフィードバック**



**チームの仲も深まりました**

最後のまとめでは、神奈川県立横浜高等学校の小島校長先生より、「初日は『9回も実践するのか.....』と少し不安そうな様子も見受けられましたが、本日は驚くほどイキイキとディベートしており、その変化をととても嬉しく思います。チームとしての団結力も強くなったかと思いますが、この学校を超えた繋がりをぜひこれからも活かして、大事にしてください。」と労いのお言葉をいただき、研修が終了しました。



## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ディベートのやり方を学べた。もっと議論を交わしたい。
- ・意見の軸について意識できるようになり、反論ポイントなどが分かるようになった。どういった軸で論を可視化すれば良いのか分かり、参考になった。
- ・昨日（研修初日）よりも、論の立て方や、まとめ方が上手くできた。
- ・生徒の指導に活かしたい。
- ・ポイントを事前ご説明いただき、昨日（研修初日）より相手側の論点をより明確に理解することができ、個人的に反論の内容が少しよくなったと思います。
- ・非常に有意義な研修でした。実際に自分自身もディベートを経験せねば、絶対に指導できないと思います。ジャッジが自身にとってまだまだ課題ではあるので、これから勉強したいと思います。
- ・各回ごとにテーマを分けてくださったおかげで、回ごとに何にフォーカスするかがわかりやすかったです。また、折々に生徒に指導する時はどうすればいいかというお話もいただけ、授業実践に落とし込むビジョンが見えました。よって最高評価にさせていただきました。
- ・初日朝は、ディベート初心者ということもあって 9 回もするのか……と不安な気持ちでしたが、何度も回を重ねることでディベートの奥深さに気がつくとともに、自身のディベート力向上も感じる事が出来て有意義な回になりました。
- ・実際のディベートを複数回重ねることで、ポイントとなる所を身に染みて感じる事ができるから。また、メンバーが 2 日間固定なのがとても助かりました！信頼関係を保てるので、議論自体に集中でき、自分のアイデアも周りに変に気を使わずに、伝えることができました。2 日間運営していただいた皆様本当にありがとうございました。優しく、そしてスマートに運営をしていただき、とても楽しく研修を受けることができました。スピーチ、ディベート、ディスカッションとアクティビティがある中で、生徒に伝えるべきことが今回の研修でとてもクリアになりました。
- ・今回は AREA を意識して、特に例を挙げることをしてみようと思っておりましたが、Time management や POI への回答などに手間取り、なかなかうまくいきませんでした。やればやるほど、課題が見えてきて、大変だけれど、面白い、面白いけど、大変の繰り返しです。近い将来、公認ジャッジの免許にも挑戦してみたいです。





## PDA 堀川高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年8月3日（水）9：30～11：30

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒12名、教員1名、

スタッフ：一橋大学、PDA認定教育ジャッジ

即興型英語ディベートの各スピーカーの役割確認を行った後、即興型英語ディベート特有の大事なルールである、POI（Point of Information）の練習を参加者全員で行い、早速実践①の論題発表です。

### 実践①の様子

論題発表後の準備時間（15分間）を使い、生徒たちは校内の部屋移動をしながら、論題を肯定/否定する理由をそれぞれに考えました。チーム内でアイデアを出し合い、自分たちのポイントを2つ決めていきます。実際のラウンドでは、きれいな英語の発音で主張-理由-具体例-再主張の型に沿った論理的なスピーチが多く見られました。また、相手チームの議論と自分たちの議論を常に比較しながらスピーチを展開する生徒の姿もあり、実践①から白熱したラウンドとなりました。



ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて、対戦相手とエア握手

ラウンド後は、PDA のジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1 人 1 人への個人コメント (良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点) が述べられます。ジャッジからのアドバイスを真剣に聞き、メモを取り、休憩を惜しんで積極的に質問をする堀川高校の皆さんの姿は、主体的に学ぶ高校生のお手本です。

## 実践②の様子

実践①でジャッジから受けたフィードバックを、早速実践②にいかしていきます。話す内容も深まり、アイコンタクトなどの表現力も向上し、スピーチ時間も長くなり、さらには相手チームのスピーチ中に質疑に立つ POI も両テーブルで見られました。相手チームが時間をかけて説明したメリットを、自分たちの世界でも得られるメリットである、と具体例を添えて反論を展開するなど、相手の議論にかみ合った応答が続き、議論が深まります。堀川高校の皆さんの吸収力、そして即応できる力の高さを感じます。



ベストディベーターを代表して

実践②でベストディベーターに選ばれた生徒からは、「3 番目に話す、サマリースピーカーはやったことがなかったので、とても難しかったけれど、良い経験になった。楽しかった。」、「とても難しかったけれど、1 回目の実践より、2 回目の実践の方がよいスピーチができたと思う。その変化を感じることができて良かった。」と、感想が述べられました。全国各地の高校生たちと切磋琢磨しながら、発信力やコミュニケーション力に加えて、論理力や表現力、チームワークや幅広い知識など、様々な力を高めていける PDA のイベントやコンテンツを、堀川高校の皆さんに是非繰り返し活用してもらいたいと願っています。8 月 27 日関西交流大会での、堀川高校の皆さんのチームワークとスピーチを楽しみにしています。

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- 頭めっちゃフル回転で、とても楽しかった。授業でも是非行いたい。
- 即興でやるのが面白かった。もっと time management できるようになりたいなと思いました。全国大会などにも参加してみたい。
- 全然初めはできなかったけど、回数を積むことで、できるようになったことが楽しいと感じました。浅い内容ではなくて、将来につながる事とか、海外まで視点を大きく持ってやろうと思いました。
- 具体的で、的確で、とても参考になるジャッジをしていただき、ありがとうございました。今回の指摘を、今後の成長に活かしていきたいです。
- 普段は書いたり読んだりしている英語でも、実際に話そうとすると、とても難しく、普段から考えて話していくことが必要だと思った。
- 1回目から2回目にかけて、話す内容、長さを工夫することができて、楽しかった。
- POI を最後の最後にできたのでよかった。次のディベートでも挑戦していきたい。授業でも是非行いたいし、大会にも是非参加したい。
- 英語で意見を言い合うこと自体が、日常的に経験してないことで、だからこそ難しいけど楽しかった。納得できる意見が言えなかった悔しい気持ちもありつつも、なにか楽しいと思えた。今後、もっとディベートをして、自分のスキルをもっと向上させたいと思います。今回は、とても参考になる講習を、本当にありがとうございました。



## PDA ノートルダム清心中高等学校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年8月4日（木）13:30-15:10

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒24名、教員3名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京外国語大学

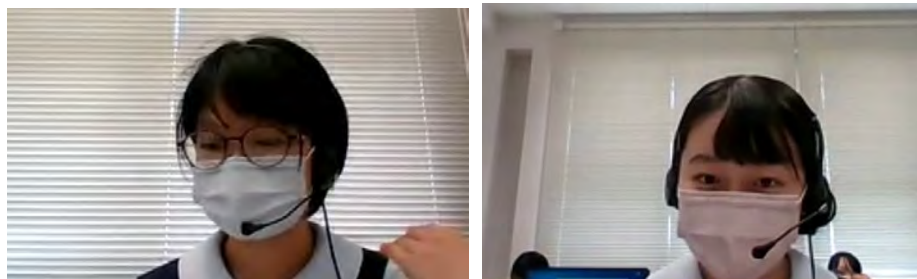
はじめに PDA スタッフより、PDA の活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information) の練習を行いました。4人チームの場合の役割分担や準備時間の時間配分などルールの重要箇所について確認したのち、POI のポーズの練習を行いました。「POI！」と言いながら片手を頭に乘せて、もう片方の手を伸ばす POI のポーズをきめることができます。



POI の練習

### 実践（1）の様子

実践（1）の論題は、“*It is better for university admission test takers to have a boyfriend/girlfriend.* (大学入試の受験生には彼氏/彼女がいた方がいい。)”でした。恋人とはどのような存在か、両親や親友や学校の先生とは何が違うのかなど、論題のキーワードに着目しながら具体例を交えたスピーチを披露しました。



スピーチの様子



エアー握手の様子

### 実践（２）の様子

休憩を終えると、次のラウンドの開始です。実践（２）の論題は、“*Convenience stores should be closed late at night.* (コンビニエンスストアの深夜営業をやめるべきである。)”でした。実践（１）でジャッジから受けたアドバイスを活かそうと、主張に対して具体例をつけたり、どのような人が困るのかについて具体的に上げたり、ポイントの重要性について説明したりする様子が見られました。ディベートが終わるとお互いの健闘をたたえてエアー握手を交わし、ジャッジによる勝敗の説明や個人フィードバックを受けました。

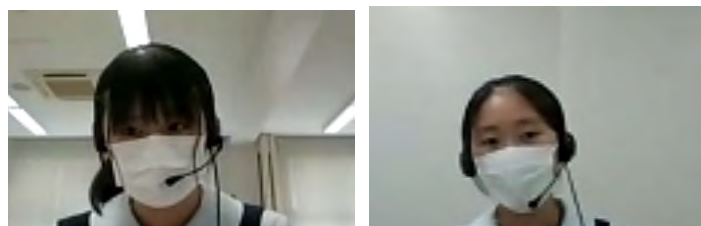


エアー握手の様子



ジャッジによるフィードバック

最後に、ベストディベーターに選ばれた生徒が、「ジャッジについてのディベートでとても緊張したが、とても勉強になった。」「自分が思ってたことと違うアイデアを相手チームが言ってきて刺激になった。」と感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・論題について理解を深めることができた。また、自分の知っている単語だけでも伝えたいことが伝わったのが嬉しかった。
- ・今日はプロの方にジャッジをして頂いたことで、より自分のディベートに何が足りないかどこが良くなっているのかを実感することができました。
- ・初めて対戦する人ばかりで、外部の方に見ていただくという環境だったので、とても緊張しました。LOR の時は自分の先に用意していた意見しか言えず、チームに貢献出来なかったと思っていましたが、ジャッジの方にそれが結果的にチームの主張を強める事に繋がったとおっしゃってくださり、少し達成感がありました。どの立場もそうですが、reply は特に最後までしっかり聞かなければチームの意見が説得力を持って主張できないという思いが焦りになり、相手やチームの意見を聞き取れなかった部分がありました。ジャッジの方の講評からディベートは、常に集中を切らさず、聞いて反論や具体例を考え続けることが大切だと改めて思いました。自分たちの意見がどのような点でどのように優れているか、相手の意見の問題点は何かなどを考えるにはまず、自分たちの意見をしっかり固めて一貫性を持たせることが重要だとおっしゃっていたので、改めて話し合いの時間の重要さに気づき、ディベートはチーム戦なのだと強く思い、チームで協力して話し合い、勝つために協力することを楽しく感じました。 本日はありがとうございました。
- ・15分という短い時間で準備して、反論はその場で考えないといけないので、難しかった。瞬間で英作文できるように、そして広い視野でいろいろな角度から物事を捉えられるようになりたいと思った。
- ・英語ディベートには英語力だけではなく、発想力がとても重要だなと感じました。相手の言いたいことを汲み取れず、上手く反論できなかったので悔しかったです。自分の意見が相手に伝わったときに満足感、そして充実感を得られました。



文部科学省後援 PDA 全国中学校・高校即興型英語ディベート合宿・大会 2022 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2022年8月5日(金)～6日(土)

(1日目) 中学生：3ラウンド、高校生：練習3ラウンド、予選1

(2日目) 高校生：予選2、予選3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoomにてリモート開催

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協力：大阪公立大学



参加者数：中学生 99名 (16校・28チーム)、高校生 316名 (55校・97チーム)

#### 中学校

(東京都) 獨協中学校、品川女子学院中等部、白百合学園中学高等学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、東洋英和女学院 (神奈川県) 湘南白百合学園中学校、洗足学園中学高等学校、栄光学園中学校、聖光学院 (愛知県) 愛知真和学院大成中学校、南山中学校女子部 (京都府) 京都市立大宅中学校 (兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (千葉県) 翔凜中学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校

#### 高校

(岩手県) 岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校 (茨城県) 東洋大学附属牛久高等学校、清真学園 (栃木県) 宇都宮高等学校、栃木県立佐野高等学校、作新学院高等学校 (群馬県) 高崎市立高崎経済大学附属高等学校 (千葉県) 翔凜高等学校 (東京都) 品川女子学院高等部、獨協中学高等学校、山崎学園富士見高等学校、東京都立大泉高等学校、女子聖学院高等学校 (神奈川県) 慶應義塾高等学校、湘南白百合学園高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、白鵬女子高等学校、栄光学園高等学校、聖光学院 (富山県) 富山国際大学附属高等学校 (福井県) 福井県立藤島高等学校 (長野県) 長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県屋代高等学校、伊那北高等学校 (岐阜県) 岐阜高等学校、岐阜聖徳学園高等学校 (静岡県) 静岡県立静岡高等学校 (愛知県) 東邦大学附属東邦高等学校、東海高等学校、南山高等学校女子部 (三重県) 三重県立四日市高等学校 (京都府) 京都府立嵯峨野高等学校 (大阪府) 大阪青凌高等学校、関西創価高等学校、関西大倉高等学校 (兵庫県) 神戸市立葺合高等学校、雲雀丘学園高等学校、報徳学園高等学校、神戸市立葺合高等学校、神戸大学附属中等教育学校、兵庫県立尼崎小田高校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (広島県) ノートルダム清心中・高等学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校 (福岡県) 福岡県立久留米高等学校、福岡県立城南高等学校、朝倉高等学校 (熊本県) 熊本県立人吉高等学校 (大分県) 大分豊府高校 (鹿児島県) 鹿児島中央高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校

(順不同)



開催趣旨：

〈中学生・高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生、PDA 認定教育ジャッジによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。また他校生徒との交流も深まります。初心者の方も歓迎です。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。

〈教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。2022年度からの「論理・表現」をはじめ、授業に導入できる即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのセッションを50分としています。また、効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.

（園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。）

論題 2 : As pets, robot dogs are better than real dogs.

（ペットは、本物の犬より、ロボット犬の方がよい。）

論題 3 : We should abolish the death penalty.

（死刑制度を廃止すべきである。）

論題 4 : STEAM education should be prioritized over English education.

（英語よりも、STEAM を学ぶべきである。）

論題 5 : Footage of shooting incidents should not be reported.

（銃撃事件の映像は報道すべきでない。）

論題 6 : Public policies should be based on public opinion polls, rather than a few experts or bureaucrats.

（公共政策は、少数の専門家や官僚ではなく、世論調査に基づくべきである。）

論題 7 : NATO should deploy its troops to Ukraine.

（NATO はウクライナに派兵すべきである。）

論題 8 : Japan should promote the use of nuclear power plants.

（日本は原子力発電所の利用を促進すべきである。）

## 1日目

開会式では、まず今回の参加校が紹介されました。カメラとマイクのチェックも兼ねた学校名の点呼と挨拶をしました。その後、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意を行いました。ルールの確認では、POI (Point of Information: 質疑応答) のポーズの練習も行いました。今回は、中学生・中学校教員の部 (今年度から新設)、高校生の部 (授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般)、高校教員の部 (初心・一般、認定、受験) が同時進行で行われます。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰るシステムとなっております。



POI の練習

中学生ラウンド1・高校生練習ラウンド1の論題は「園や学校の運動会での順序付を廃止すべきである」でした。教員の部ではラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生、検定審査レクチャーを聴く先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレストシート (アイデア出しシート) にメモし、まとめていきました。ディベートが終了すると、他校の生徒と自己紹介をし、学校の様子などを語り合う姿が見られました。

中学生ラウンド2・高校生練習ラウンド2の論題は「ペットは、本物の犬より、ロボット犬のほうがよい」でした。コストパフォーマンスや人と犬の幸福に焦点をあて、自分の見解を明確にした議論を展開する様子が見られました。

中学生ラウンド3・高校生練習ラウンド3の論題は「死刑制度を廃止すべきである」でした。犯罪抑止力や罪刑の均衡、人権侵害や世界的な潮流に関して深く論議されました。



中学校 R2 ディベート後のエアー握手の様子 (聖光B vs 洗足)

また、高校生練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他の生徒のディベートを聞いて勝敗やその理由を振り返ってもらう練習を行いました。ジャッジを初めて務めるという生徒もいましたが、事前に行ったジャッジレクチャーを参考に、客観的視点からディベートを評価する体験は新鮮だった生徒も多かったようです。教員の部でもディベートが行われ、実際にディベーターを体験すると同時に、ジャッジの練習を行う機会が設けられました。



高校生 練習 R2 長野 B vs 城南 C



高校生 練習 R2 岐阜 A vs 宇都宮 B



高校生 練習 R3 城ノ内 B vs 翔凜 C



高校生 R3 湘南白百合 B vs 栄光 B



高校生 練習 R3 藤島 B vs 一関第一 A



ディベート後の交流 (松本県ヶ丘 C・慶應)

1 日目の最後は、高校生部の予選 1 が行われました。予選 1 の論題は「英語よりも、STEAM を学ぶべきである」でした。練習ラウンドでディベーターやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。科学技術が目覚ましい進歩を遂げ、グローバル化が進む今日、これからの未来社会を担っていく生徒たちにとっても大変有意義な議論となりました。



予選 R1 佐野 A vs 関西創価 A



予選 R1 ディベート後のエアークラップ（鹿児島中央・藤島 B）

高校生部の部・教員の部で熱い議論が交わされる中、中学生部の閉会式が行われました。閉会式では、ベストチーム賞、ベストディベーター賞、ベスト POI 賞の発表が行われ、受賞を喜び合い、健闘を称えました。



中学生・ベストディベーター賞



中学生・ベスト POI 賞



1 位 神大附属 B



2 位・白百合 A



3 位・翔凜 A

## 2 日目

2 日目は朝から予選 2 が行われました。予選 2 の論題は「銃撃事件の映像は報道すべきでない」でした。Zoom を用いたディベートにやや慣れてきた様子で、POI 等積極的にディベートに参加していました。



高崎経済朝倉 vs 関西大倉 C

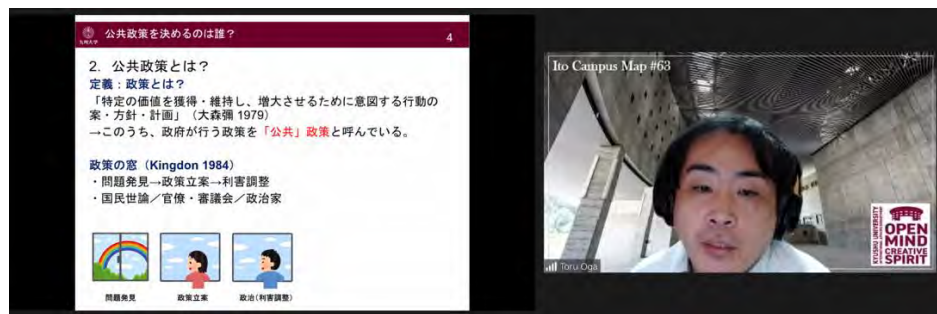


伊那北 D vs 茅ヶ崎北陵 C



宇都宮 B vs 久留米

続いて、九州大学の 大賀哲先生による、予選ラウンド 3 の論題に関するキーノートレクチャーが行われました。専門的視点から語られる公共政策に関するレクチャーは生徒達にとって貴重だったようで、興味津々に聴講していました。



大賀哲先生によるキーノートレクチャーの様子

予選 3 の論題は「公共政策は、少数の専門家や官僚ではなく、世論調査に基づくべきである」です。今までの論題の中で専門性が高く少し難しい議題でしたが、POI 等を大いに活用し、議論百出する生徒達の姿が見られました。



牛久 B vs 高崎経済・大倉



相模原 B vs 屋代 C

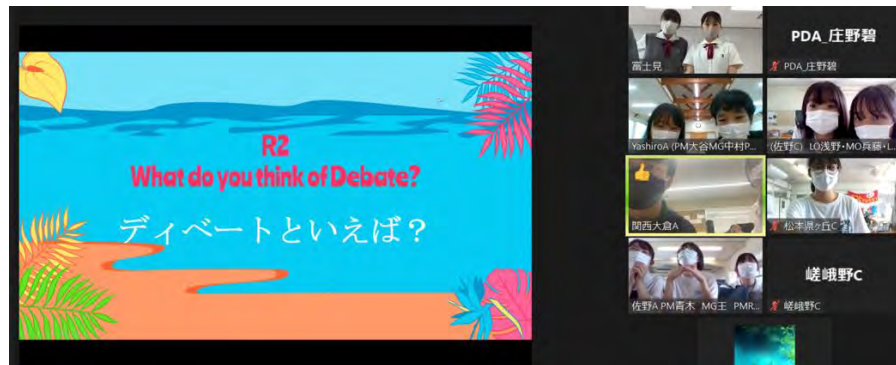


松本県ヶ丘 C vs 関西大倉 A



神大附属 B vs 藤島 A

昼食前に、zoom上でレクリエーション「Telepathy game～以心伝心ゲーム～」が行われました。以心伝心ゲームでは、出たお題をもとに連想する単語を共有しました。グループ内で同じ単語が出ればポイントがもらうことができます。生徒達は和気藹々と意見を交わしていました。先生やPDAスタッフも参加し、楽しいレクリエーションとなりました。以心伝心ゲームのアイスブレイクのお蔭か、休憩時間も昼食をとりながら推しの話などで大いに盛り上がりました。



レクリエーションの様子（お題に合わせて回答を考えます）



レクリエーション後の昼食交流会の様子

その後昼食を経て、準決勝進出チーム（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝進出チーム（課外活動の部(初心者)）の発表（ブレイクアナウンスメント）が行われました。予選とは違い、多くの観客が見守る中、準決勝（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝（課外活動の部(初心者)）が開催されました。論題は「NATOはウクライナに派兵すべきである」です。NATOの今後の動きについて熟考するタイムリーで大切な議論となりました。ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が激化する中、生徒達による舌戦が展開されました。



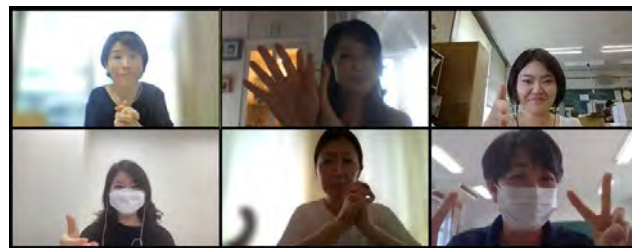
授業の部 準決勝① 白鷗女子A vs 作新D 授業の部 準決勝② 作新C vs 城南A



課外の部(初心者) 決勝 南山女子 vs 作新B



課外の部(一般) 準決勝① 藤島 A vs 藤島 C 課外の部(一般) 決勝② 神大附属 A vs 東海



教員ディベートのエアー握手の様子

また、各ラウンドの準備時間には、PDA 学校会員の特典である「PDA 自動ディベートワードシステム」「遠隔ディベート (PDA 大練習会)」や、今年度から始まった一般向けイベント「キーノートディベート」についての紹介がありました。

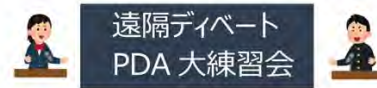
「PDA 自動ディベートワードシステム」は、今大会などでも使用している単語シートを自動で作成するシステムで、一から作るのが大変な単語シートを作るサポートをしてくれます。

また、「遠隔ディベート (PDA 大練習会)」は月に一度開催されており、全国津々浦々からディベートをしたい高校生が集まり、練習を行っています。練習後には論題に関する解説も行われ、参加している生徒にとっては交流の場・学びの場となっています。遠隔ディベートに参加したことのある生徒は、「いつもは同じ学校の人とディベートしているが、他の高校の人とディベートすることがとても刺激になる。」と感想を述べ、またジャッジとして参加している教員も「数少ないジャッジの練習ができる機会となっている」と述べました。

「キーノートディベート」では、ディベーター・ジャッジ・オーディエンスに分かれ、ディベートを行います。その後、その論題に関する最先端の研究を行っている研究者からキーノートスピーチが行われます。キーノートディベートに毎月参加している教員は、「ディベートをしているとロジックや英語表現に意識が行きがちだが、それでは架空の議論になってしまうことがある。実際の状況を学ぶことにより、地に足のついた議論がすることができる。キーノートディベートはそのための学びが得られるため、教員にはぴったりのイベントだと思う」と感想を述べました。



PDA 自動ディベートワードシステム



**【PDA 学校会員限定】  
遠隔ディベート (PDA 大練習会)**

毎月1回、大練習会形式の遠隔ディベートを開催いたします。

- ・1校1チームの申込み可能です。学校数の上限はありません。
- ・当日は、PDA スタッフによるサポート。各チームの学校を遠隔で行い、プレイアウトルームにて各校がディベートできる環境を整えます。
- ・議題は、PDA で準備します。
- ・各プレイアウトルームでの進行・ジャッジは、各校にて自由に調整いただけます。
- ・授業での参加も可能です。
- ・なお、チーム総数が奇数の場合、ディベートができないことがある場合があります。

遠隔ディベート (PDA 大練習会)



参加者が遠隔ディベートの感想を述べる様子



キーンノートディベート

いよいよ決勝です。決勝の論題は「日本は原子力発電所の利用を促進するべきである」です。2日間オンラインで開催された本大会の最後にふさわしい議論が交わされ、出場者は皆堂々とディベートを行いました。本合宿では生徒がジャッジを経験したため、準決勝や決勝では見学生徒自身も勝敗を出せるよう真剣に観戦しました。



授業の部 決勝 白鷗女子 A vs 城南 A



課外の部(一般) 決勝 藤島 A vs 神大附属 A



結果

〈中学生の部〉

チーム賞

- 1位：神戸大学附属中等教育学校 B
- 2位：白百合学園中学高等学校 A
- 3位：翔凜中学校 A
- 4位：洗足学園中学高等学校
- 5位：聖光学院 B

ベストディベーター賞※☆は3回選ばれた生徒

- ・聖光 B \_\_\_\_\_さん☆
- ・洗足 \_\_\_\_\_さん☆
- ・神大附属 C \_\_\_\_\_さん
- ・神大附属 B \_\_\_\_\_さん
- ・神大附属 A \_\_\_\_\_さん
- ・南山女子 B \_\_\_\_\_さん
- ・南山女子 B \_\_\_\_\_さん
- ・聖光 A \_\_\_\_\_さん
- ・白百合 A \_\_\_\_\_さん
- ・翔凜 A \_\_\_\_\_さん

ベストPOI賞※☆は3回選ばれた生徒

- ・神大附属 B \_\_\_\_\_さん☆
- ・聖光 A \_\_\_\_\_さん☆
- ・洗足 \_\_\_\_\_さん☆
- ・神大附属 A \_\_\_\_\_さん
- ・聖光 C \_\_\_\_\_さん
- ・聖光 B \_\_\_\_\_さん
- ・都立大泉 A \_\_\_\_\_さん
- ・品川女子 C \_\_\_\_\_さん
- ・翔凜 B \_\_\_\_\_さん
- ・翔凜 A \_\_\_\_\_さん

〈高校生の部〉

チーム賞（授業の部）

- 優勝：白鵬女子高等学校 A
- 準優勝：福岡県立城南高等学校 A
- 3位：作新学院高等学校 C  
作新学院高等学校 D

チーム賞（課外活動の部 初心者）

- 優勝：作新学院高等学校 B
- 準優勝：南山高等学校女子部

チーム賞（課外活動の部 一般）

- 優勝：神戸大学附属中等教育学校 A
- 準優勝：福井県立藤島高等学校 A
- 3位：福井県立藤島高等学校 C  
東海高等学校

ベストディベーター賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は3回選ばれた生徒

・四日市	_____さん☆	・相模原 C	_____さん
・白鵬女子 A	_____さん☆	・相模原 B	_____さん
・一関第一	_____さん	・茅ヶ崎北陵 B	_____さん
・久留米	_____さん	・都立大泉	_____さん
・嵯峨野 A	_____さん	・東邦	_____さん
・南山女子	_____さん	・高崎経済・朝倉	_____さん
・伊那北 D	_____さん	・作新 B	_____さん
・伊那北 C	_____さん	・佐野 C	_____さん
・屋代 C	_____さん	・宇都宮 B	_____さん
・長野 B	_____さん	・宇都宮 A	_____さん
・藤島 D	_____さん	・清真	_____さん
・富山国際 A	_____さん	・牛久 A	_____さん
・聖光	_____さん	・城南 A	_____さん
・柏陽 A	_____さん	・作新 C	_____さん

ベストディベーター賞（課外活動の部 一般）※☆は3回選ばれた生徒

・城之内 A	_____さん☆	・藤島 C	_____さん
・城之内 B	_____さん	・藤島 C	_____さん
・神大附属 B	_____さん	・藤島 B	_____さん
・神大附属 A	_____さん	・富山国際 D	_____さん
・関西創価 A	_____さん	・富山国際 C	_____さん
・東海	_____さん	・栄光 B	_____さん
・松本県ヶ丘	_____さん	・湘南白百合 A	_____さん
・長野 A	_____さん	・翔凜 B	_____さん
		・清真 A	_____さん
		・一関第一 A	_____さん

ベスト POI 賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は3回選ばれた生徒

・相模原 B	_____さん☆	・獨協 C	_____さん
・富士見	_____さん☆	・獨協 B	_____さん
・佐野 C	_____さん☆	・品川女子	_____さん
・牛久 A	_____さん☆	・作新 B	_____さん
・一関第一 D	_____さん☆	・佐野 D	_____さん
・城ノ内 C	_____さん	・宇都宮 B	_____さん
・神大附属 C	_____さん	・宇都宮 A	_____さん
・嵯峨野 A	_____さん	・清真 B	_____さん
・松本県ヶ丘 C	_____さん	・城南 B	_____さん
・長野 B	_____さん	・城南 A	_____さん
・藤島 D	_____さん	・白鵬女子 A	_____さん
・聖光	_____さん		

ベスト POI 賞（課外活動の部 一般）※☆は3回選ばれた生徒

・城ノ内 B	_____さん☆	・藤島 B	_____さん
・長野 A	_____さん☆	・富山国際 D	_____さん
・栄光 A	_____さん☆	・富山国際 C	_____さん
・湘南白百合 B	_____さん☆	・翔凜 B	_____さん
・清真 A	_____さん☆	・作新 A	_____さん
・一関第一 A	_____さん☆	・佐野 B	_____さん
・城ノ内 A	_____さん	・佐野 A	_____さん
・静岡	_____さん	・一関第一 C	_____さん
・岐阜 B・関西創価 B	_____さん	・盛岡第一 A	_____さん
・屋代 A	_____さん		

## アンケート（抜粋）

### 生徒の声（中学生）

- 普段は自分の知ってる人しか試合をやらないので、他校の方と試合するところできて、これからにもつながるいい経験となりました！（湘南白百合学園中学校・2年）
- 論題がおもしろかった。（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- 他学年とも交流できたし難しかったですが論題が何になるのか、などドキドキしたり楽しかったです。（南山中学女子部・3年）
- 他校との交流ができて楽しかった。フィードバックもとても参考になった。（都立大泉高校附属中学校・3年）
- 他校との交流があって良かったです。ディベートを一緒にしたことがない人ともできて、新たな改善点やディベートの特徴に出会えたので良かったです。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- まさに「井の中の蛙大海を知らず」を実感しましたし、議論も白熱して面白かったです！（南山中学女子部・2年）
- まず、この大会を準備して下さった関係者の皆様本当にありがとうございました。今までの成果を十分に発揮し、リプライスピーカーとして、ベストディベーター賞も頂き、大変光栄です。他校の方ともたくさん会話する機会があり、今までの大会の中で最も充実した大会だったと思います。ありがとうございました。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 他校との交流で、たくさんの方のことを相手チームから学べたり、ジャッジの先生からの的確なアドバイスをもらえて、自分の課題が見えてよかったです。（東洋英和女学院・3年）
- 英語で意見を伝え合うのが楽しかったです。（品川女子学院・1年）

### 教員の声（中学校）

- 中学、高校とこれだけ規模の大きい大会を様々な人の力で運営されていることに感動しました。様々な学びをありがとうございました。
- 実際にやってみて、とても難しくチャレンジングでしたが、良い経験になりました。

### 生徒の声（高校生）

- 初めて対戦できる高校の方々が沢山いてめちゃくちゃ楽しかったです。（翔凜高校・2年）
- 後輩と共に充実した期間を過ごすことが出来た。（品川女子学院・2年）
- たくさんの方と交流することができ、新しい考えを得ることが出来た。（一関第一高校・2年）
- ディベートという普段ではできない体験をすることが出来たので、本当に楽しかったです。（作新学院高校・1年）
- いままで英語でディベートちゃんとできたことがなかったけどどんどん話せるようになった。（関西大倉高校・1年）
- はじめてのディベート大会で、2連続負けたけれど、2日目は2連続勝ててはじめてディベートが楽しくなりました。そしてベストディベーター賞受賞させていただくこととなりましたが、チームメイトがとても親切丁寧に協力してくれたので楽しくできました。（茅ヶ崎北陵高校・1年）
- ディベート詰めの2日間、何ラウンドも練習ができて、とても楽しかったです。結果は負けてばかりだったが、とてもよい経験になりました！（岐阜高校・1年）
- 対戦して下さった学校はみんなレベルが高く、自分たちの論をどうやったらジャッジにより説得力あるように説明できるかチームで協力して試合に挑めた。（屋代高校・2年）

- 良い結果が出なくてもジャッジの方に改善点や新しい技などを教わることができてよかった。（佐野高校・2年）
- 他校とのディベートのし合いがとてものしかった。また、さまざまなテーマについて考えることができた。（茅ヶ崎北陵・1年）
- 初めて全国規模の練習会に参加したので、初めて対戦する高校ばかりで、いろいろな意見を聞けたので楽しかった。また、積極的にPOIをして、POI賞ももらえたので楽しかった。（一関第一高校・1年）
- 去年は悔しい結果で、今年は自分たちの代で中心となってディベートができて、準優勝できてとてもうれしかったです！ディベートを愛する仲間と深い議論をすることができて最高の瞬間でした！良い思い出になりました！これからのディベートの活力にしていきたいと思います！（福岡県立城南高等学校・2年）
- ディベートの試合はもちろん、そのあとの他校の皆さんとの交流が面白かったからです。また、ジャッジの方々に指摘してもらったことを生かして練習していきたいです。（徳島県立城ノ内中等教育学校・2年）
- 強い学校とあたって深いところまで議論を発展させることができ、キーノートレクチャーを通して知識を増やすこともできて、本当に楽しかったです。（
- ジャッジ体験では、どのようにジャッジが考えながらディベートを聞くのか、ということ意識することができた。大切になってくるポイントを自分の中で吸収して、自分のディベートに活かそうと思う。（静岡高校・1年）
- ジャッジ体験では、全員の点数をつけたりアタックが有効なのかを考えたりするジャッジの難しさがわかりました。スピーカーを客観的に見れたので何が自分のスピーチに足りないのかわかりました。（鹿児島中央高校・2年）
- 他校の生徒との交流やキーノートレクチャーによる学びで、自分のモチベーションが上がった。（一関第一高校・2年）

#### 教員の声（高校）

- どの論題も面白かったです。キーノートレクチャーも素晴らしかったです。
- 当初、教員ラウンドもあるのかと憂鬱でしたが、やってみたら意外に楽しませていただきました。
- 普段大人しい生徒たちでしたが、本気で楽しんでいる姿を初めて見られました。ディベートの可能性を感じられた2日間でした。
- 教員同士のディベート実践が刺激的で、先生方のスピーチはもちろん、ジャッジをしてくださった方々のコメントがも、とても勉強になりました。生徒のディベートもたくさんジャッジをさせていただき、ありがたかったです。ディベートの生徒さんたちは、皆とても礼儀正しく、ディベートとしての姿勢が素晴らしかったです。先生方の日頃の指導の賜物だと思いました。論外のチョイスも興味深く、時事問題に詳しい生徒は、様々な具体例を出せたのではないかと思います。（）
- 実際に教員としてディベートを行い、他のディベーターの先生から学ぶことも多かつたし、ジャッジの方のコメントから、役割ごとにどのようなスピーチの構成にすればよいかなど、非常に勉強になりました。
- 始めたばかりなので、体験できてよかったです。授業に役立てたいと思います。

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上

(写真) 学校からの写真の送付ご協力をありがとうございました。



ベストディベーター賞受賞者



ベスト POI 賞受賞者



授業の部 決勝 エア一握手 (白鷗女子 A・福岡県立城南高校 A)



白鷗女子 A 就業写真・ディベートの様子



藤島高校集合写真



神戸大学附属中等教育学校 A チーム



清真学園



課外の部(初心者)優勝 作新学院 B チーム



授業の部 3位 作新学院 C チーム・D チーム



栃木県立佐野高等学校



神奈川県立柏陽高等学校 ベストディベーター



## PDA 兵庫県立神戸高校 即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年8月17日（水）9:30-11:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒13名、教員4名

ジャッジ：PDAスタッフ、大阪公立大学

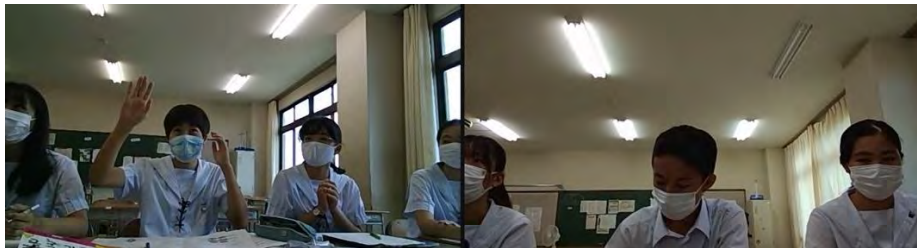
はじめにPDAスタッフより、PDAの活動紹介、ルールの確認、POI(Point of Information: ディベート中に質疑応答を要求することができる)の練習を行いました。片手を頭に乘せて、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズを練習することができました。



POIの練習

### 実践（1）の様子

ディベートが始まると、学校での具体例も交えた説得的なスピーチを披露しました。そして、相手の話をよく聞いて、戦略的に反論することができました。時にはPOIにチャレンジし、相手の主張を入念に確認する場面も見られました。



POIで質疑応答



ディベート後のエアー握手



## 実践（２）の様子

休憩を挟み、第２ラウンドの開始です。ルールが少し不安だという生徒も自信を持った表情を見せて臨んだ第２ラウンド。ジャッジから受けたフィードバックを活かそうと、相手の個々の主張に反論をしたり、POIで相手チームのスピーチ内容に言及した質問をしたりすることができました。



POIで質疑応答



アイコンタクトをしながらスピーチ

最後のまとめでは、第２ラウンドでベストディベータに選ばれた生徒が本日の感想を述べ、体験会が終了しました。

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・新しく学ぶこと、知らなかった上になるほどな、となるが多かったので興味深かった。
- ・同じチームの仲間と短い時間の中たくさん話し合えて、全力のディベートができたのでとても良い経験になった。
- ・即興で相手の意見に反駁するのは難しいので、あらかじめ相手の意見を予測しておくのが効果的だなと感じた。
- ・1回目に出来なかったことを2回目にできるようになって嬉しかったから。
- ・初めは難しいと感じましたが、2回目は英語を使いながらディベートを楽しめたから。
- ・ただ意見を言うだけでなく、相手の意見を聞いて、それを踏まえてその場で話すという経験はあまりしたことがなかったので、難しい部分も多かったですが、すごく新鮮で楽しかったです。
- ・参加して良かったです。これからも今日学んだことを意識して英語を頑張りたいです。
- ・2回目では、1回目よりも上手くできたように感じ、自分の成長を感じられた。



## PDA 勝田中等教育学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年8月24日（月）9：00～11：00

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒名7名（中学2年生）、下山田校長、教員3名

スタッフ：PDA 認定教育ジャッジ

3人チームと4人チーム（2番手のMember役割を2人で分担）に分かれて、即興型英語ディベート実践を2ラウンド行いました。各スピーカーの役割とルールを確認し、相手のスピーチ中に質疑を行う大事なルール「POI（Point of Information）」の練習を全員で行いました。ディベートルールを再確認した後、校長の下山田先生、英語科の野上先生、ALTの先生方が見守るなか、早速実践①の論題が発表されました。



実践前に全員でPOI練習！

### 実践①の様子

準備時間は論題発表後の15分間です。肯定/否定チームは仲間とアイデアを出し合い、自分たちのポイントを2つに絞り、PDAスピーチシートに主張や理由、具体例などを書き込み準備します。ラウンドでは、自分たちのポイントについて、きれいな英語の発音で落ち着いて説明することができていました。また、即興での反論にもかかわらず、身近な具体例を添えて応答する生徒や、自分たちが大事にしたい世界観と、相手チームの世界観を

比較しながらスピーチを展開する生徒もあり、勝田中等教育中学校の生徒の皆さんのポテンシャルの高さに驚かされます。

ラウンド後は、PDA ジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1人1人への個人コメント（良かった点と改善点）が述べられました。

### 実践②の様子

短い休憩をはさみ、実践①でジャッジから受けたフィードバックをいかし、実践②に挑みます。自分たちの主張に、そう考える根拠となる理由や、具体的な例、分かりやすい説明が加わり、即興での反論にも具体例を添えて応答する姿が多く見られました。内容の深まりに加えて、声の大きさやアイコンタクトも良くなり、スピーチ時間も実践①より全員が長くなり、より聞き手に伝わりやすいスピーチになりました。



ラウンド後は議論を交わした相手チームに感謝を込めて、エア握手

実践①②ともに「POI」が飛び交い、相手の議論をよく聞き、理解したうえで、しっかりと反論しようとする姿勢が目立ちました。また、反論アイデアをチーム全員で考え、助け合う姿も多くみられ、勝田中等教育学校の皆さんのチームワークの良さも光っていました。校長の下山田先生からも「もっと日本語が出るかと思っていましたが、堂々した英語でのスピーチ、立派でした。生徒たちは本当によくやってくれました！」との労いの言葉がかけられました。

勝田中等教育学校の皆さんが、即興型英語ディベート練習や授業実践、交流大会参加などを通して、グローバル社会で活躍する際に必要となる様々な筋肉を鍛え続けられるよう、今後も応援していきたいと願っています。

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- 今までの知識を使って楽しく話せて、とても楽しかった。
- 頑張りました。普段の授業でも即興型英語ディベートを行いたい。
- 初めてちゃんとしたディベートができて、とても楽しくできた。授業でも是非行いたい。
- 中学生大会（2023年3月開催予定）にも是非参加してみたい。
- とても楽しくディベートができて、うれしかった。



## PDA 関西高等学校即興型英語ディベート交流大会 2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年8月27日(土) 09:30-14:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：6校、18チーム (奈良県立奈良高等学校・滋賀県立彦根東高等学校・兵庫県立神戸高等学校・大阪府立北野高等学校・京都市立堀川高等学校・滋賀県立膳所高等学校)

参加者：生徒41名、教員12名

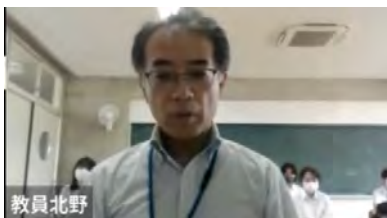
スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、九州大学



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「みなさんがこれから生きていく中で、『英語で伝える力』と『伝える内容』がとても重要です。ジャッジの先生からのコメントを次のラウンドで活かすよう頑張ってください。」とメッセージが送られました。次に、大阪府立北野高等学校の天野校長先生より、「今日は、みなさんが英語で表現し、知識を広げ、論理的に考え、プレゼンテーション能力を養う絶好の機会です。楽しみながら頑張ってください。」と英語でご挨拶いただきました。次に、滋賀県立膳所高等学校の富江校長先生より、「コミュニケーション能力を養うことが重要です。ときには間違い、他校の生徒と様々なことについて話し、思い出を作ってください。」と英語でご挨拶いただきました。



PDA 代表理事中川よりご挨拶



天野校長先生(北野高校)よりご挨拶



富江校長先生(膳所高校)よりご挨拶

そして、PDA スタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習などが行われました。



POI の練習



北野高校 開会式の様子

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は「**Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.** (園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。)」でした。肯定側は自信をなくし、運動が嫌いになる問題や、いじめにつながるという点について説明し、否定側はモチベーションにつながる、むしろ協力して練習しようというムードになる、社会では順位付されるのだから早いうちから慣れるべきなどの点について説明しました。POI を通して質疑応答をする様子も見られ、「普段の体育の授業ではなく運動会だけであれば問題ないのではないですか。」など、内容に言及した質疑に果敢にチャレンジする場面も見られました。ディベートが終わると、お互いの健闘をたたえ、エアー握手を交わしました。

ジャッジのフィードバックを待つ間、「何年生ですか?」「部活していますか?」「文理選択はどのようにして決めましたか?」とお互いに質問し、交流を深めました。



POI ! (膳所高校 B VS 北野高校 B)



ディベート後のエアー握手 (神戸高校 A VS 北野高校 C)

続く第2ラウンドのお題は、「*Japan should promote the use of nuclear power plants.* (日本は原子力発電所の利用を進めるべきである。)」でした。肯定側は、地球温暖化が深刻であり、環境に優しい発電が重要であるという点について、否定側は、原子力発電所の危険性を説明しつつ、代替案の方が良いという点について主張しました。第1ラウンドよりもさらにPOIが活発に行われ、白熱したディベートとなりました。



POI！（奈良高校 A VS 北野高校 A）



POI！（神戸高校 A VS 奈良高校 B）



ディベート後のエアー握手（北野高校 B VS 堀川高校 B）



膳所高校 A チーム



膳所高校 B チーム





奈良高校 A チーム



奈良高校 B チーム



彦根東高校



北野高校

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*STEAM education should be prioritised over English education.* (英語よりも、STEAMを学ぶべきである。)」でした。肯定側は、STEAM分野に関心を持つ人が減っているという問題を背景に、STEAMを学ぶ必要性について主張しました。そして否定側は、色々な人とコミュニケーションをとるためには英語を学ぶことが必要だと主張しつつ、肯定側の主張に対しても、STEAMを学ぶ上でも英語が必要になると返答しました。ジェスチャーを交えたスピーチをしたり、果敢にPOIにチャレンジしたりしました。勝敗はエキシビジョンディベートを聞いていた生徒と教員が挙手で投票し、Government (肯定側) の勝利となりました。



エキシビジョンディベートの様子



エキシビジョンディベートでのPOI

閉会式では、表彰が行われ、最後に奈良県立奈良高等学校の前田校長先生と滋賀県立彦根東高等学校の伊吹校長先生からご講評をいただきました。前田校長先生より、「多くの英単語を使って、論理的に相手に伝える力は今後グローバルに活躍するみなさんにとっては重要なスキルです。また、幅広い知識やコミュニケーション力などを身につける大会になったと思います。この大会で得た力を今後の朝鮮に役立ててください。」と労いの言葉をいただきました。伊吹校長先生より「今日は英語の力を試し、プレゼンテーションスキルをブラッシュアップする機会になったのではないかと思います。色々なことを学べた日になったのではないのでしょうか。これからは頑張ってください。」と英語でご講評いただきました。最後に PDA 代表理事の中川智皓より、「日々情報収集しながら、自分はいまどのような力を身につけたいか、身につける必要があるのかということを考えることが重要です。今日の大会で終わらず、今後も「考える」という場面で、ディベートで得た学びを活かしてください。」とメッセージが述べられ、関西交流大会 2022 が終了しました。



前田校長先生(奈良高校)によるご講評 伊吹校長先生(彦根東高校)によるご講評

## 【表彰】

### 〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・PM 北野高校 \_\_\_\_\_さん
- ・LO 堀川高校 \_\_\_\_\_さん
- ・MG 彦根東高校 \_\_\_\_\_さん
- ・MO 神戸高校 \_\_\_\_\_さん
- ・LOR 膳所高校 \_\_\_\_\_さん
- ・PMR 奈良高校 \_\_\_\_\_さん



エキシビジョンディベータ賞

### 〈チーム賞〉

- 1位 奈良 A
- 2位 北野 B
- 3位 神戸 A
- 4位 神戸 B
- 5位 北野 A



1位 奈良高校 A チーム



2位 北野高校 B チーム



3位 神戸高校 A チーム



4位 神戸高校 B チーム



5位 北野高校 A チーム

〈ベストディベーター賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん (北野 C) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (堀川 B) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (堀川 A) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 B) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 A) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (神戸 A) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (北野 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (北野 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (北野 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (彦根東)
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (神戸 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (膳所 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (膳所 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (膳所 A)



ベストディベーター賞

〈POI賞〉★は2回選ばれた生徒

- ・ \_\_\_\_\_さん (北野 B) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (北野 A) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (神戸 B) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (堀川 B) ★
- ・ \_\_\_\_\_さん (北野 C)
- ・ \_\_\_\_\_さん (彦根東)
- ・ \_\_\_\_\_さん (堀川 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (奈良 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (神戸 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (膳所 B)
- ・ \_\_\_\_\_さん (膳所 A)



ベストPOI賞

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・自分達の論を客観的に見ることは大事だと分かった。（膳所高校）
- ・初めての体験で、色々な人と英語を用いて交流出来て良かったです。（奈良高校）
- ・今まで考えたことのなかった考え方を知ることができた。他校の人と交流できて貴重な経験になった。（奈良高校）
- ・他校の人と話したり、好評を聞き自分の視野が広がった気がします。（堀川高校）
- ・自分が言いたいことを、英語ですぐに言うことがなかなかできなかったのも、スピーチの力を付けていきたいなと思いました。（膳所高校）
- ・今日は、2ラウンド続けてのディベートで一回目よりも二回目で成長したディベートをできたと思うのでよかったです。とても楽しかったです。（神戸高校）
- ・ディベートを通して普段関わることのない人と関わることができ、英語の力が伸びたと感じる。また、今の社会状況などについての見解を深める機会にもなった。（神戸高校）
- ・今回2回目のディベートを行い、前よりも自分の意見を説得させられるように言えるようになってきました。今回改善点で言われたことを次回に活かしたいと思います。（堀川高校）
- ・意見を英語で伝えることが難しくもあり、楽しくもありました。またやりたいです。（神戸高校）
- ・今日は貴重な機会をありがとうございました。即興型ディベートはなかなか難しく、毎回反省点は尽きないですが、この6校のディベートを聞いたり、実際に対決したりして、このような人がいるのだと知りました。とても今回はハイレベルで楽しかったし、勉強になりました。（堀川高校）
- ・楽しかったです！！（北野高校）
- ・論題に対しての自分たちの考えを広げたり、実際にどうやって話せばよいのか考えながらディベートをしていく中で、いつも以上に英語で話す臨場感や実感が高まり、また自分の主張する意見自体へも、より注意を向けたり、話の流れを確認しながら考えることで、より明確な主張ができた。（堀川高校）
- ・論題が今の時事に沿っていてよかった。（北野高校）
- ・大会に参加するのは初めてで緊張もありましたが、自分の精一杯を尽くせたと思います。自分にとって非常に意味のある大会になりました。（北野高校）
- ・すぐに頭の回転を利かせることの特訓になり、とても有意義でした。（彦根東高校）
- ・普段は校内だけで練習しているので、他校のディベートを見ることはとても刺激になった。自チームの弱点もはっきりわかり、とても有意義な試合だった。（北野高校）
- ・限られた時間内で効率よく動かなければならなかったのも焦った場面もありましたが、その中でもなるべく詳しく、伝わりやすいように説明することを意識しました。（神戸高校）
- ・他の生徒さんの英語力に圧倒されました。タイムマネジメントや英語で言いたいことが言えなかったりなど、上手くできなかったことも含めいい経験になりました。（彦根東高校）

（教員の声）

- ・zoomだと場所を問わず交流できるのがよいです。また実際に対面でやっている様子も見てみたいで

す。

- ・非常に楽しく参加させていただきました。1年生6人での参加でしたが、積極的にPOIをしてみたり、チーム間で論理に一貫性をもたせようと連携を取ったりする姿が見られて、教員としてとても嬉しく思いました。また、他校さんがどのようにディベートに取り組まれているのかを知る機会もなかなかないので、生徒たちが交流していた内容が私にとっての学び・気づきになりました。ありがとうございました。
- ・私自身もジャッジの際のアドバイスなど学ぶことが多く、とてもよかったです。普段は寡黙な生徒も生き生きと活動していました。本日はzoomでしたが、状況が改善されて対面での試合が叶う日を願っています。ありがとうございました。
- ・社会の様々な問題に対して様々な視点から考え、それを堂々と発表する姿に感心しました。今年も貴重な経験の場を与えていただきありがとうございました。
- ・生徒たちが英語を駆使しながら、自分の伝えたいことを伝えようとし、相手の言いたいことを理解しようとする姿に感動致しました。



## PDA 安積高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年9月8日（木）14：00～16：00

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒37名、教員2名、

スタッフ：北海道教育大学、慶応義塾大学、PDA認定教育ジャッジ

即興型英語ディベートの各スピーカーの役割について再確認を行った後、即興型英語ディベート特有の大事なルールである、POI（Point of Information）の練習を参加者全員で行いました。緊張を少しほぐしたら、早速実践①の論題発表です。8つのチーム（4～5名/1チーム）を作り、4部屋に分かれてディベート実践の開始です。



実践前に全員でPOI練習！

### 実践①の様子

論題発表後の準備時間（15分間）を使い、生徒たちは論題を肯定/否定する理由をそれぞれに考えます。チーム内でアイデアを共有し、話し合い、自分たちのポイントを2つ決めていきます。7-8分が経過しても、2つ目のポイントを何にするかを話し合う活発な声が聞こえてきます。実際のラウンドでは、緊張しながらも、きれいな英語の発音でスピーチが繰り広げられました。また、早速POIが飛び交い、相手チームの説明をしっかりと聞き、

落ち着いて理解したうえで反論を行おうという意識の高さも見られました。相手の議論と自分たちの議論との差を、分かりやすくジャッジに伝えようとする生徒もいて、驚かされます。

ラウンド後は、PDA のジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1 人 1 人への個人コメント（良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点など）が述べられます。ジャッジからのアドバイスを、頷きながら真剣に聞く安積高校の皆さんの姿が印象的です。

### 実践②の様子

実践①でジャッジから受けたフィードバックを、早速実践②にかす生徒ばかりで、安積高校の皆さんの吸収力、そして即応できる能力の高さが目立ちました。自分たちの主張に加えて、主張を支える根拠となる理由や、具体例が加わり、さらにはアイコンタクトなどの表現力も向上し、スピーチ時間も長くなりました。現状でのメリット/デメリットだけでなく、将来への影響まで述べる相手に対して、自分たちの世界観の中でも、より安全に同等のメリットが得られることを反論として分かりやすく述べるなど、相手のポイントにかみ合った応答が続き、白熱したラウンドとなりました。



ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて、対戦相手とエア握手

実践②でベストディベーターに選ばれた生徒からは、「日本語でディベートを以前授業でやったことはあったが、英語では初めての体験だった。実践①では、カメラの前に立ったら頭が真っ白になり緊張したが、実践②では個人コメントを参考に、また、チームメイトの助けも借りて、チームで準備した考えを自分なりにしっかりとスピーチできてよかった」、と感想が述べられました。

各地の高校生たちと切磋琢磨しながら、発信力やコミュニケーション力、論理力や表現力、チームワークや幅広い知識など、様々な力を高めていける PDA のコンテンツやイベントを、安積高校の皆さんにも是非繰り返し活用してもらいたいと願っています。

11月13日東北公立高校PDA交流大会でも、安積高校の皆さんのチームワークとスピーチ



を楽しみにしています。

### 参加者の声 (アンケートより抜粋)

- 即興で英語を考えるスリルが今までになくて、楽しかった。授業でも、是非行いたい。
- 1回目はボロボロだったけど、2回目は事前準備の時間を有効に使えて、自分の言いたいことをちゃんと伝えられたから楽しかった。またやってみたいと思った。大会にも参加したい。
- 英語でディベートをすることで、英語を実用的に使う学びに繋がった。ディベートのお題についての理解も深まり、お互いの視点から考える力も身についた気がして、とても楽しかった。
- 英語で自分の意見を主張するのは難しかったが、同時に達成感もあり、とても楽しかった。また是非やりたい。
- 友達と楽しみながら、苦しんで英語を喋って、通じ会えた時がすごく楽しかった。英語でディベートするという初の試みにすごく苦しみましたが、拙いボキャブラリーの中でもディベートすることが出来て良かったです。
- 英語でディベートするのは新鮮で、自分の未熟さを知りながらもこれからも頑張ろうと思った。
- ジャッジの先生が優しく丁寧に教えてくれたので自然とやる気が出て、楽しく参加することができた。
- チームに対するコメントだけでなく、個人に対するコメントを頂けて更なる励みになりました。丁寧に講評して下さって、もっと成長できるポイントが的確で分かりやすく、またやりたいと思えました。楽しかったです！



PDA 神奈川県高等学校 即興型英語ディベート  
(横浜翠嵐高等学校・横浜緑ヶ丘高等学校・相模原高等学校)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年9月17日(水) 9:00-11:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒24名、教員6名

ジャッジ：PDAスタッフ、一橋大学、相模原高校・PDA認定教育ジャッジ

はじめにPDAスタッフより、PDAの活動紹介、これまでの神奈川県高等学校交流大会の様子の紹介、ルールの確認、POI(Point of Information: ディベート中に質疑応答を要求することができる)の練習を行いました。片手を頭に乘せて、もう片方の手を伸ばすPOIのポーズを練習することができました。



POIの練習

実践(1)の様子

ディベートが始まると、社会問題を絡めたポイントを説明し、論題の是非について議論しました。時には、POIを通して、反論の布石になるような質問をする場面も見られました。ディベートが終わると、エアークラップを交わしたのち、ジャッジによるフィードバックを待っている間、「何年生ですか?」「部活は何に入っていますか?」など質問し合い、交流を深めました。



POIで質疑応答

## 実践（２）の様子

休憩を挟み、第２ラウンドの開始です。第１ラウンドでジャッジから受けたフィードバックを早速活かそうと、具体例を複数挙げたり、重要性を説明する際に「インパクト」を複数提示したり、反論する際にもしっかりと理由を説明したりする様子が見られました。

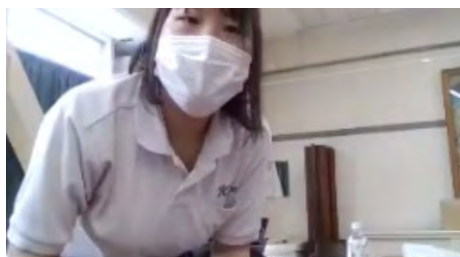
ディベート後の交流の時間では、お互いの主張について日本語で話し合ったり、定義について一緒に考える様子が見られました。



P0I で質疑応答

ジャッジによるフィードバック

最後のまとめでは、第２ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が本日の感想を述べ、体験会が終了しました。



本日の感想を述べています

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の持っていない切り口を先生がアドバイスしてくれて新鮮でした！（横浜翠嵐高校）
- ・新しい視点がもらえる。英語が上達する。英語が上手い人が多くいるので、良い刺激になる。（横浜翠嵐高校）
- ・ジャッジの先生方が思っていたよりもずっと丁寧に振り返りや改善点を教えてくださって驚きました。（横浜翠嵐高校）
- ・ディベートでどんどん話せるようになるのが、すごく楽しいです！ディベートになれている高校の方と練習できて、いい刺激をもらいました。（横浜緑ヶ丘高校）
- ・英語を話すいい機会になりました。（相模原高校）
- ・しっかりとディベートの試合を他校としたのは初めてだったのですが、経験を積むことが出来て良かったです。（相模原高校）
- ・他の高校と交流することができたり、個人コメントで自分の成長ポイントを見つけることができたりして、とても楽しかったです！ありがとうございました！（相模原高校）
- ・自分にはない見解をもらえてとても良かったです。（相模原高校）
- ・フィードバックをととても丁寧に行なっていただきとても学びになりました。楽しく学びになる貴重な時間を作っていただきありがとうございます。（相模原高校）

## PDA即興型英語ディベート北海道交流大会2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年9月23日（金・祝）09:30-13:30

会場：オンライン（Zoom）

参加校：2校、3チーム（北海道釧路湖陵高校・北海道札幌南高校）

参加者：生徒13名、教員6名

スタッフ：PDAスタッフ、一橋大学



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事中川智皓より、「この即興型英語ディベートは日本だけではなく世界で取り組まれています。英語がペラペラでなければできないというものではありません。特にディベートでは表現だけでなく内容も重要です。頑張ってください。」とご挨拶いただきました。次に、札幌東高校の手塚茂也先生より、「この即興型英語ディベートの特徴はやりとりが多いことだと思います。完璧な英語でなくてもいいのです。伝えたいという気持ちが重要ですので、ぜひ『伝える』試みを頑張ってください。」とメッセージが送られました。

そして、PDAスタッフより、参加校の紹介やジャッジの紹介、ルールの確認、POI(Point of Information)の練習などが行われました。



手塚先生によるご挨拶



POIの練習

POIの練習が終わると、早速第1ラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は「**Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.**（園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。）」でした。肯定側は自信を失ってしまう、自己肯定感が下がってしまう、順位付けが強く根付くことがコミュニケーションの悪化につながるという点についてスピーチしました。対する否定側は友達と一緒にスキルアップに励むことでむしろ順位付けがある方が、コミュニケーション力が身に付く、モチベーションがあがるという点について説明しました。

POIが活発に交わされ、まさに『やりとり』がたくさん生まれたディベートでした。相手のPOIに対して、自分たちの考えをしっかりと返答することができていました。



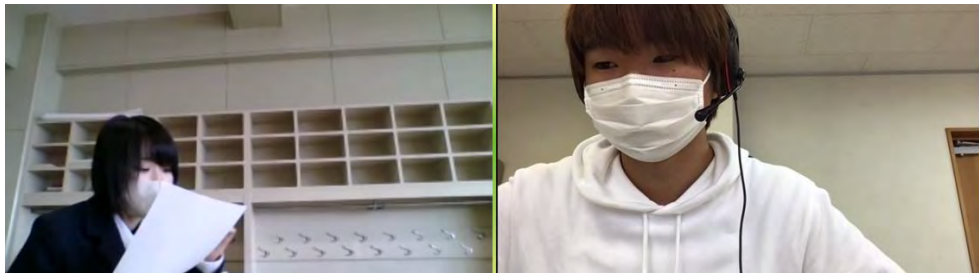
ディベートの様子



スピーチの様子

POI にチャレンジ!!!

続く第2ラウンドのお題は、「*Japan should promote the use of nuclear power plants.* (日本は原子力発電所の利用を進めるべきである。)」でした。肯定側は、二酸化炭素を抑える必要性について強く主張し、否定側は、コスト面の問題や、地震が起きたときのリスクについて主張しました。どこからウランなどを持ってくるのか、輸送コストはどうなのかなど、第1ラウンドよりもさらに背景知識も理由や具体例に盛り込まれ、白熱した議論となりました。



ディベートの様子



スピーチの様子



ディベート後のエアークラップ

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「**STEAM education should be prioritised over English education.** (英語よりも、STEAMを学ぶべきである。)」でした。肯定側は、STEAMこそ学校で学ぶべきであるということを他に学習する環境があるかどうかに着目しながら説明し、否定側は、英語が世界の共通言語であり、STEAMを学ぶためにも英語が必要であることや、学校でSTEAM教育をする場合の教員の負担などについて分析しました。またPOIも活発に行われ、「英語を話せることによるメリットは何か」「英語を学習しながらでもSTEAM学習はできるのではないか」など内容に言及した質疑応答が見られました。

ディベートを見学していた生徒と教員の挙手投票により、否定側の勝利となりました。



エキシビジョンディベートの様子



POI !!



エアー握手を交わします

閉会式では、表彰が行われ、最後に札幌東高校の手塚茂也先生より、「今日はみなさんの聞く力や反応する力を見せてもらいました。きっと社会のことを知ることが重要だということを実感する機会になったのではないのでしょうか。今後、もし自分たちの言いたいことが相手に伝わらない時はただ繰り返すのではなく、パラフレーズ、言い換えができないかと考えてみてはいかがでしょうか。」とご講評をいただきました。最後に、今回個人賞で表彰を受けた生徒が本日の感想を述べ、北海道交流大会 2022 を終了しました。



本日の感想

## 【表彰】

### 〈エキシビションディベータ賞〉

- ・ PM \_\_\_\_\_さん 釧路湖陵高校
- ・ LO \_\_\_\_\_さん 札幌南高校
- ・ MG \_\_\_\_\_さん 札幌南高校
- ・ MO \_\_\_\_\_さん 釧路湖陵高校
- ・ LOR \_\_\_\_\_さん 釧路湖陵高校
- ・ PMR \_\_\_\_\_さん 札幌南高校



エキシビションディベータ賞

### 〈チーム賞〉

- ・ 1位 釧路湖陵 A
- ・ 2位 札幌南
- ・ 3位 釧路湖陵 B



1位 釧路湖陵 A



2位 札幌南



3位 釧路湖陵 B

### 〈ベストディベータ賞〉

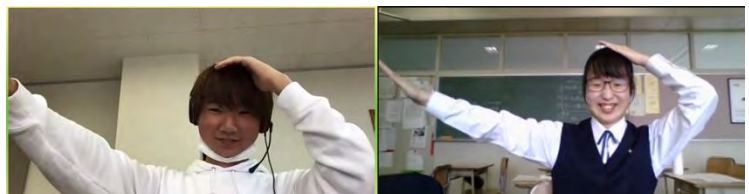
- ・ \_\_\_\_\_さん (釧路湖陵 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (札幌南)
- ・ \_\_\_\_\_



ベストディベータ賞

### 〈POI 賞〉

- ・ \_\_\_\_\_さん (釧路湖陵 A)
- ・ \_\_\_\_\_さん (札幌南)



ベスト POI 賞



## 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・課題点がよくわかった。（札幌南）
- ・もっと試合を増やしてほしいです。（札幌南）
- ・初の交流大会で緊張もあったのですが、楽しめました。ありがとうございました。（釧路湖陵）
- ・問題提起をしてからそれを自分の意見に繋げるとしっかりとまとまると思いました。（釧路湖陵）
- ・思ったよりも話せて嬉しかったです。（釧路湖陵）
- ・もっと沢山の学校と即興ディベートをやってみたいと思いました。（釧路湖陵）
- ・とても楽しかったです。今までディベートをやったことない人と対決することでたくさんの発見があったので、自分のためだけでなくチームのためにもなりました。これが成長につながり、よりよいディベートを創っていきたいと思っています。本日はこのような大会を開催していただき本当にありがとうございました。ジャッジメント、対戦相手のみなさん、先生方もお時間を割いていただき誠にありがとうございました。（釧路湖陵）
- ・素晴らしい受け答えをしていた方々を見てもっとできるようになりたいと強く思いました。大会の雰囲気も明るく、英語って楽しいなあと感じました。（釧路湖陵）
- ・他校とディベートができ、生徒たちにとっていい刺激になったと思います。（教員）
- ・生徒の英語力の向上を実感できた。（教員）
- ・札幌南も湖陵も生徒のレベルが高くて感心しました。ジャッジコメントが本当にわかりやすく、どいう視点が必要なのかなど具体的で大変参考になりました。（教員）



## PDA 日比谷高等学校 即興型英語ディベート体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2022年9月30日（金）14：00～16：00

場所：オンライン（Zoom）

参加者：生徒33名、教員2名、

スタッフ：北海道教育大学、九州大学、山梨大学、PDA 認定教育ジャッジ

国語授業で日本語ディベート経験はあるものの、英語ディベートは今回が初めてということで、即興型英語ディベートの各スピーカーの役割について、最初に再確認をしました。また、即興型英語ディベート特有の大事なルールである、POI（Point of Information）の練習を参加者全員で行い、緊張を少しほぐしたら、早速実践①の論題発表です。



実践前に全員で元気づく POI 練習！

### 実践①の様子

論題発表後の準備時間（15 分間）を使い、生徒たちは論題を肯定/否定する理由をそれぞれに考えます。相手チームに聞こえないように、教室の隅と隅に離れて、チーム内でアイデアを話し合い、自分たちのポイントを 2 つ決めていきます。今日初めて知り合うチームメイトもいるなか、どのテーブルもチームワーク良くコミュニケーションをとる生徒の姿が見られました。実際のラウンドでは、論題に関連した具体例が多く話され、現状の問題点について分かりやすい描写がされました。きれいな英語の発音で、ジェスチャーも交えながら相手チームにもジャッジにも伝わりやすいスピーチが繰り広げられ、驚かされます。また、早速 POI にも果敢に挑戦し、相手の議論をしっかりと理解したうえで応答しようとする生徒の姿勢に、日比谷高校の強みを感じます。

ラウンド後は、PDA のジャッジから、(1) 勝敗 (2) 勝敗の理由 (3) 1 人 1 人への個人コメント（良かった点と次の実践ラウンド②にすぐにかすことのできる改善点など）が述べられました。自分以外のスピーカーへのジャッジアドバイスにも、頷きながら真剣に聞く様子に、ジャッジ講師も思わず力がこもります。

### 実践②の様子

短い休憩時間をはさみ、早速実践②の開始です。実践①でジャッジから受けたフィードバックを実践②にかす生徒が多く、日比谷高校の皆さんの吸収力と応用力の高さが目立ちました。現状の分析に加えて、論題のある世界のメリット/デメリットについても、身近な具体例を添えて分析を行い、更には、個々に与える影響だけでなく社会全体におけるメリット/デメリットについても議論が展開されました。多様な視点で論題についてチーム内で用意できたことが伺えます。



ラウンド後は、感謝の気持ちを込めて対戦相手と握手

実践②でベストディベーターに選ばれた生徒より、「最初はあるか心配で自信がなかった。具体例の出し方などの確かなアドバイスを最初にもらい、2 回目には実践でき、成長を感じられた。」、「丁寧なアドバイスと 2 回の実践を通して、即興型英語ディベートについて理解が深まった。次回への改善点も把握できたので、またやってみよう。」と感想が述べられました。

11 月 20 日の首都圏公立高校 PDA 交流大会でも、日比谷高校の皆さんの高い論理性と描写力、そして元気いっぱいのチームワークがみられることを楽しみにしています。

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- とてつもなく難しかったがとても楽しかった。日本語で思いつくことすら出来ず、緊張で頭が真っ白になるほどだった。終わってから良い意見を思いついたりもした。楽しかったので、英語のディベートをもっと沢山経験したい。また是非やりたい。
- 英語でチームメイトと物事の考えを共有し、相手の意見を聞いて考えるという、初めての経験ができ、成長したと感じた。
- （ジャッジ講師より）丁寧なアドバイスを頂けて、自分の弱点がみつきり、より精進していきたいと思えました。今日ディベートをしてみて、大会にも是非チャレンジしてみたいと思いました！
- 私は上手く英語が話せません。しかし話そうと努力していく中でだんだん話せるようになって楽しかったです。ディベートをする機会はなかなかなく、滅多にできない経験でとても良かったです。
- ディベートを通して成長を感じられて、とても楽しかった。普段全く関わらない人とも意見を交えることで、自分にはなかった考え方に触れられた。また、切羽詰まった状況の中で論理的に話したり、上手く言えないことを簡単な言葉に落としたりと今までになく冷静に議論をすることができた。
- 習うだけのことが多い英語を実際に使うだけでなく、準備のあまりできない即興ディベートをすることで本当の自分の英語の実力を試せたとし、成長もできて、とても有意義な時間を過ごせました。
- 一つの論題を、さまざまな視点から眺められて面白かった。具体的なアドバイスや良かった点も教えてもらい、成長できた。普段の授業でも是非行いたい。